

2018 年 2 月分新聞書評

**ハンセン病療養所を生きる～隔離壁を砦に～**

有蘭 真代 著

世界思想社

ハンセン病を得た人々が、集団になることではじめてできた活動とは何か？ 動けない「不自由」な者の「自由」とはどのようなものか？ 障害を越え、隔離壁を越え、人間の魂を耕し続けた人々の記録を綴る。

2017:4./ 5p,213p

978-4-7907-1699-0

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/02/03

**大遺言～祖父・永六輔の今を生きる 36 の言葉～**

永 拓実 著

小学館

黒柳徹子、久米宏、小林亜星、タモリ、ピーコ、さだまさし、清水ミチコ…。永六輔の“言葉”によって、仕事や人生が激変した著名人は数知れない。永六輔の孫が、ゆかりの人々を訪ね歩き、永六輔が遺した言葉と行動を辿る。

2017:6./ 190p

978-4-09-346091-0

本体 ¥900+税



産経新聞 2018/02/03

**新・神楽と出会う本～歌・楽器・お囃子～**

三上 敏視 著

アルテスパブリッシング

列島のルーツ・ミュージック、神楽の音楽をさわめる！ 全国 50 カ所の神楽を案内し、神歌・せり歌、楽器、お囃子の豊穡で多様な世界を探究する。動画とリンクしたQRコード付き。

2017:10./ 252p

978-4-86559-169-9

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2018/02/04

**バー「サンボア」の百年～SAMBOA BAR Established 1918～**

新谷 尚人 著

白水社

本物のバーには物語がある。2018 年、創業 100 周年を迎える洋酒バー「サンボア」。大阪、京都、東京に 14 軒を構える由緒ある酒場の知られざる歴史を辿る。

2017:12./ 233p,7p

978-4-560-09589-8

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/02/04

**大海に生きる夢**

シャマン・ラポガン、下村 作次郎 著

草風館

蘭嶼に生きるタオ族の作家シャマン・ラポガンの自伝小説。夢を追ひ蘭嶼を離れ、台湾で「失われた 16 年」、蘭嶼に帰って「島のコードを探し求めた 18 年」…。子供時代から失われつつあるタオ人の生活に戻るまでを描く。

2017:10./ 567p

978-4-88323-200-0

本体 ¥3,200+税



産経新聞 2018/02/04

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2018 年 2 月時点での税抜価格です。



右であれ左であれ、思想はネットでは伝わらない。

坪内 祐三 著

幻戯書房

飛び交う言説に疲弊してゆく社会で、今こそ静かに思い返したい。時代の順風・逆風の中、「自分の言葉」を探し求めた、かつての言論人たちを。20 年以上にわたって書き継いだ、体系的「論壇」論。

2017:12./ 413p

978-4-86488-136-4

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/02/04



明治の光・内村鑑三

新保 祐司 著

藤原書店

キリスト教という「薬」抜きに西洋文明という「毒」を移植した日本近代が、根柢的に抱える欠落とは何か。「日本近代」を内村鑑三から照射し、近代の本質を看取した明治?昭和の文人・思想家たちの姿を描く。

2017:12./ 390p

978-4-86578-153-3

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2018/02/04



自民党秘史～過ぎ去りし政治家の面影～(講談社現代新書 2460)

岡崎 守恭 著

講談社

田中角栄、中曽根康弘、竹下登、金丸信、山中貞則…。一昔前の政治家たちは、良くも悪くも器が違った。自民党を見つめ続けた伝説の政治記者が、彼らの、驚愕と禁断と哀愁のエピソードを語る。

2018:1./ 225p

978-4-06-288460-0

本体 ¥800+税



産経新聞 2018/02/04



英語対訳で学ぶ日本～歴史と文化の 111 項目～

麗澤大学「学び伝えよう日本」プロジェクト、中山 理 著

育鵬社

わかりやすい英語で、日本の歴史と文化を一挙紹介。1 テーマ見開きで構成し、左側ページに日本文、右側ページにその英訳文を記載する。英語圏の人に日本の歴史や文化を紹介、説明する際に役立つ書。

2018:1./ 254p

978-4-594-07884-3

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/02/04



なぜ日本だけが中国の呪縛から逃れられたのか～「脱中華」の日本思想史～(PHP 新書 1130)

石 平 著

PHP研究所

中華文明を振りかざし、周辺国に影響を及ぼしてきた歴代の中華帝国に呑み込まれなかった日本。なぜ大和朝廷は儒教より仏教を重んじたのか。日本の思想家たちは何を考えたのか。対中関係という視点から日本の思想史を読み直す。

2018:1./ 254p

978-4-569-83745-1

本体 ¥880+税



産経新聞 2018/02/04



中国の伝統劇入門～季国平演劇評論集～

季国平 著

晩成書房

中国で「戯曲」は中国の伝統劇を指す言葉です。特筆すべきは、それぞれの戯曲芸術が根強い観客の支持を受けながら、継承と発展に努め、実のある成果をあげていることです。季国平「自序」より

2017:11./ 280p

978-4-89380-478-5

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/02/10



border|korea

菱田 雄介 著

リブローアルテ

北朝鮮と韓国。かつて同じ国に暮らした人々は、38 度線と呼ばれる軍事境界線を挟んで全く別の日常を生活している。軍事境界線で分けられた 2 つの国を 2 枚の写真に置き換え、並置することによって表現した写真集。

産経新聞 2018/02/10

2017:12./ 107p

978-4-8021-3080-6

本体 ¥5,500+税



世界の国ぐに〜キッズペディア〜

小学館

世界の 197 の国ぐにを写真とともに紹介。国旗の説明、首都・面積・人口・主な言語などの基本データ、日本との時差などを掲載する。見返しに「この本で紹介する No.1」、ジャケット裏に「世界の国旗」あり。

産経新聞 2018/02/11

2017:11./ 271p

978-4-09-221122-3

本体 ¥3,900+税



ゾンビたち

キム ジュンヒョク、小西 直子 著

論創社

反社会的な行為の末に命を落とし、軍によって利用されているゾンビたちがひっそりと暮らすコリオ村。そこは世間と完全に断絶した「無通信地帯」だった。人間とゾンビをめぐる、あたたかな愛のあふれる物語。

産経新聞 2018/02/11

2017:12./ 381p

978-4-8460-1675-3

本体 ¥2,500+税



豊じいのごきげん墨絵日記〜筆ペン一本で毎日が新鮮!〜

本多 豊國 著

河出書房新社

日々の出来事、気持ちを墨絵と文字にする。そこから読み取れる独特の視点、発想、思考…。還暦を過ぎてから絵日記を始め、国内外問わず墨絵の魅力を世界に広めている著者が描く日々の記録。

産経新聞 2018/02/11

2018:1./ 143p

978-4-309-02645-9

本体 ¥1,300+税



情熱は磁石だ〜パラリンピックスキー20年の軌跡、そして未来へ〜

荒井 秀樹 著

旬報社

指導者として日本のパラリンピックノルディックスキーと共に歩み、世界と戦い続ける男・荒井秀樹が、長野パラリンピック前からの泣き笑いの 20 年間、実業団チームや日本代表の監督として経験したことや考えてきたことを綴る。

産経新聞 2018/02/11

2018:1./ 163p

978-4-8451-1521-1

本体 ¥1,400+税



短歌タイムカプセル

東 直子、佐藤 弓生、千葉 聡 著

書肆侃侃房

葛原妙子、塚本邦雄、岡井隆から、吉田隼人、大森静佳まで。未来に届けたい、現代歌人 115 人の各 20 首を収めたアンソロジー。編者が各歌人の代表歌 1 首を選び、鑑賞文とともに掲載した「一首鑑賞」も収録する。

産経新聞 2018/02/11

2018:1./ 245p

978-4-86385-300-3

本体 ¥1,500+税





酒は人の上に人を造らず(中公新書 2472)

吉田 類 著

中央公論新社

東京の下町をはじめ、北海道、福島、京都、愛媛、熊本など各地を訪ね、ときにほろ酔い、ときに酩酊しつつ、出会った人々と酒縁を結ぶ。酒場の風情と人間模様を描く紀行エッセイ。『中央公論』連載を書籍化。

2018:1./ 7p,185p

978-4-12-102472-5

本体 ¥760+税



産経新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/18



プーチンとロシア人

木村 汎 著

産経新聞出版

ロシアのトップに君臨する男、プーチンは、どんなトリックで自国を實力以上に見せているのか? ロシア研究の第一人者が、ロシア人の国民的性格をもとに、人間的アプローチでプーチンの行動様式を読み解く。

2018:1./ 326p

978-4-8191-1331-1

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/18



潔白

青木 俊 著

幻冬舎

30 年前に小樽で発生した母娘惨殺事件に、前代未聞の再審請求が起こされた。すでに執行済みの死刑がもし誤判だったら、国家は無実の人間を殺めたことになってしまう。司法の威信をかけた攻防の行方は…。骨太ミステリ。

2017:7./ 262p

978-4-344-03138-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/02/17



ねことばじてん

かしわら あきお 著

主婦の友社

「ねこ」という言葉からはじまる「ねことば」を辞典形式で紹介する。絵を見て「ねこ」がつくことばを考える、書き込み式のドリルも掲載。子どもの国語力・発想力・創造力をレベルアップする言葉あそびの絵本。

2017:11./ 48p

978-4-07-426466-7

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2018/02/18



オッパイ入門

東海林 さだお 著

文藝春秋

謙虚にオッパイに向き合った表題作から、タオルへの「好き」が溢れ出た「タオルっていいな」まで。爆笑必至のショージ節エッセイ。中野翠との対談も収録。『オール讀物』連載を単行本化。

2018:1./ 261p

978-4-16-390779-6

本体 ¥1,350+税



産経新聞 2018/02/18



津波の霊たち〜3・11 死と生の物語〜

リチャード・ロイド・パリー、濱野 大道 著

早川書房

在日 20 年の英国人ジャーナリストは、東日本大震災発生直後から被災地に通い続け、宮城県石巻市立大川小学校の事故の遺族たちと出会う。取材は相次ぐ「幽霊」の目撃情報と重なり。「黒い迷宮」の著者による迫真のルポ。

2018:1./ 328p

978-4-15-209742-2

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/02/18



雨かんむり漢字読本

円満字 二郎 著

草思社

なぜ雨かんむりの「霽れる」に「晴れる」の意味があるのか。なぜ「零」はゼロなのか。漢字の成り立ちを「雨かんむりの漢字」を例に、さまざまなエピソードを通じて解き明かす。芸術新聞社のHP連載をもとに書籍化。

2018:1./ 206p

978-4-7942-2317-3

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/02/18



ご先祖様、ただいま搜索中!～あなたのルーツもたどれます～(中公新書ラクレ 609)

丸山 学 著

中央公論新社

図書館に通い、古文書を読み込み、お墓の拓本をとり、菩提寺や本家を取材し、依頼人の先祖の姿を生き生きと浮かび上がらせる。先祖探し&家系図作成のプロが、そのテクニックを実例を挙げて紹介。自力で調査するコツも伝授。

2018:1./ 219p

978-4-12-150609-2

本体 ¥820+税



産経新聞 2018/02/18



バナの戦争～ツイートで世界を変えた7歳少女の物語～

バナ・アベド、金井 真弓 著

飛鳥新社

「今夜、わたしは死んじゃうかもしれない」爆弾の雨の下から、少女は戦争の現実をツイッターで伝え続けた…。『現代のアンネ・フランク』とも呼ばれるバナが、シリアでの暮らしや内戦について語った感動手記。

2017:12./ 237p

978-4-86410-581-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/02/18



国家の危機管理

森本 敏、浜谷 英博 著

海竜社

自然災害、在外邦人テロ被害、北朝鮮の核・ミサイル攻撃、中国の海洋進出…。日本の危機管理・安全保障にまつわる全てを網羅し、過去からどんな教訓を得て、現在どんな課題を抱えているのかを論じる。著者2人の対談も収録。

2017:12./ 469p

978-4-7593-1537-0

本体 ¥3,200+税



産経新聞 2018/02/18



今こそ「奨学金」の本当の話をしよう。～貧困の連鎖を断ち切る「教育とお金」の話～(ポプラ新書 145)

本山 勝寛 著

ポプラ社

延滞者の急増やメディアによる「奨学金タタキ」…。奨学金はなぜ社会問題になったのか? 奨学金のみで東大に合格、ハーバードに通った教育専門家が、奨学金問題の本質を分析し、現実的な改善策を提言する。

2018:2./ 174p

978-4-591-15802-9

本体 ¥800+税



産経新聞 2018/02/18



玄鳥さりて

葉室 麟 著

新潮社

藩内で出世を遂げる三浦圭吾。その陰には、遠島を引き受けてまで彼を守ろうとした剣の達人・樋口六郎兵衛の献身があった。だが、藩主の企てにより、六郎兵衛は圭吾に敵対するよう仕立てられ…。『小説新潮』連載を単行本化。

2018:1./ 246p

978-4-10-328015-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/02/18、読売新聞 2018/02/25



翔ぶ夢、生きる力～俳優・石坂浩二自伝～

石坂 浩二 著

廣済堂出版

芸能界のステキな話、あの女優、この監督、プライベートでの出来事、そして趣味の飛行機への熱い思い…。シルバー世代の名優・石坂浩二が、自身の半生とさまざまなエピソードを綴る。

2017:9./ 205p

978-4-331-52119-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/02/24



Lily～日々のカケラ～

石田 ゆり子 著

文藝春秋

女優・石田ゆり子が大好きなもの、日々の暮らしを自身のエッセイと撮り下ろし写真で紹介する。ロングインタビュー、石田ゆり子への 103 の Q&A も収録。シールあり。

2018:1./ 157p

978-4-16-390742-0

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/02/24



元禄六花撰

野口 武彦 著

講談社

浮世草子の創始者・井原西鶴に才能の勝負を挑んで、挑み続けてついに及ばなかった男の物語。しがな裏長屋に住み、ひたすら観音さまを信仰して済度される男女の応報譚…。元禄の江戸を舞台にした 6 つの物語。

2018:1./ 254p

978-4-06-220840-6

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/02/25



未完の西郷隆盛～日本人はなぜ論じ続けるのか～(新潮選書)

先崎 彰容 著

新潮社

自らが理想とする「国のかたち」を西郷に投影し、第二の維新によるもうひとつの日本の実現を求めてきた日本人。福澤諭吉から江藤淳まで、西郷を論じてきた思想家たちの 150 年から、改めて「日本のかたち」を問い直す。

2017:12./ 268p

978-4-10-603820-4

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/02/25



近衛文麿～野望と挫折～

林 千勝 著

ワック

近衛文麿は己の名誉と栄光を手にするために、天皇でも共産主義者でも自分の子供でも見境なく利用した。近衛の野望と挫折の生涯を追いながら、「自殺」とされる彼の最期の日々の矛盾や不可解な行動まで明らかにする。

2017:11./ 398p

978-4-89831-465-4

本体 ¥2,300+税



産経新聞 2018/02/25



歴史をつくった洋菓子たち～キリスト教、シェイクスピアからナポレオンまで～

長尾 健二 著

築地書館

普段何気なく口にしているさまざまな洋菓子。その陰には長い歴史に彩られた興味深い物語が隠されている。クレープ、アップルパイ、ザッハトルテなど身近な洋菓子たちとともに、豊富なエピソードを紐解く。

2017:12./ 305p

978-4-8067-1549-8

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2018/02/25



統計学が最強の学問である<数学編> データ分析と機械学習のための新しい教科書

西内 啓 著

ダイヤモンド社

統計学と機械学習の専門的な勉強をはじめる前の数学的な基礎が身につくテキスト。数学の基本から2次関数、二項定理、ベクトル、微分・積分、ディープラーニングの裏側まで、ビジネスマン向けの具体的な例示を使って解説する。

2017:12./ 548p

978-4-478-10451-4

本体 ¥2,400+税



産経新聞 2018/02/25



絶望の歌を唄え

堂場 瞬一 著

角川春樹事務所

東南アジアで共に遭遇したテロで行方不明になった友。友を失った悲しみと死の恐怖から刑事を辞めた男。そんな折、平穏な日本でテロ爆発が起こった。刑事という過去と断絶した男が再び覚醒する。ハードボイルド・サスペンス。

2017:12./ 348p

978-4-7584-1316-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/02/25



ジャズの肖像ポートレイトチャーズ

阿部 克自、行方 均 著

シンコーミュージック

写真家、グラフィック・デザイナー、プロデューサーとしてジャズ・シーンに多大なる貢献を果たした阿部克自の写真集。ミュージシャンが心を許した者のみに見せる素顔の魅力を捉えた貴重な写真を多数掲載。

2017:12./ 157p

978-4-401-62285-6

本体 ¥3,704+税



産経新聞 2018/02/25



文学部唯野教授(岩波現代文庫)

筒井 康隆 著

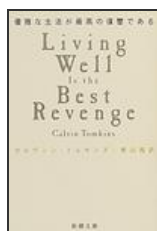
岩波書店

朝日新聞 2018/02/04

2000:1./ 373p

978-4-00-602001-9

本体 ¥1,000+税



優雅な生活が最高の復讐である(新潮文庫)

カルヴィン・トムキンズ 著

新潮社

朝日新聞 2018/02/04

2004:8./ 249p

978-4-10-214421-3

本体 ¥514+税



煙滅(フィクションの楽しみ)

ジョルジュ・ペレック 著

水声社

「い段(いきしちにひみりゐ)」がない!?失踪した男と失踪した文字をめぐる、前代未聞のミステリー。E抜きで執筆され、翻訳不可能と言われた、ペレックの代表作。

2010:1./ 372p

978-4-89176-750-1

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/02/04



残像に口紅を(中公文庫)

筒井 康隆 著
中央公論新社
朝日新聞 2018/02/04

1995:4./ 337p
978-4-12-202287-4
本体 ¥743+税

* 9 7 8 4 1 2 2 0 2 2 8 7 4 *



生きていてもいいかしら日記(PHP 文芸文庫 き 4-1)

北大路 公子 著
PHP研究所

40 代、独身。好きなもの、昼酒。座右の銘は「好奇心は身を滅ぼす」…。 “いいとこなし”に見えるけれど、なぜかおかしいキミコの日々。思わず笑いがこみあげて、不思議と元気が出てくるエッセイ集。

2012:6./ 220p
978-4-569-67840-5
本体 ¥552+税

* 9 7 8 4 5 6 9 6 7 8 4 0 5 *

朝日新聞 2018/02/04



隠喩としての病い エイズとその隠喩(始まりの本)

スーザン・ソントグ 著
みすず書房

病いの隠喩、つまり言葉の暴力からひとを解放することをめざし、人間の生と死に直接からんでくる結核と癌、エイズの隠喩を読み解く。みずからの癌体験をふまえつつ綴った、著者円熟期の透徹した文化批評。

2012:9./ 219p
978-4-622-08357-3
本体 ¥3,200+税

* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 3 5 7 3 *

朝日新聞 2018/02/04



セトウツミ<1>(少年チャンピオン・コミックス)

此元 和津也 著
秋田書店
朝日新聞 2018/02/04

2013:12./ 158p
978-4-253-22049-1
本体 ¥429+税

* 9 7 8 4 2 5 3 2 2 0 4 9 1 *



がん哲学外来へようこそ(新潮新書 655)

樋野 興夫 著
新潮社

もう、悩まなくていい。「心配するのは一日一時間でいい」「冷たい医師にもいい医師がいる」「何を望むかよりも、何を残すかが大切」——患者と家族の心に効く「ことばの処方箋」。

2016:2./ 187p
978-4-10-610655-2
本体 ¥700+税

* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 6 5 5 2 *

朝日新聞 2018/02/04



がん〜4000年の歴史〜<上>(ハヤカワ文庫 NF 467)

シッダールタ・ムカジー 著
早川書房

古代エジプト人を悩まし、現在も年間 700 万の命を奪う「がん」。現役医師が患者や医学者らの苦闘を鮮烈に綴る名著。解説／仲野徹

2016:6./ 501p
978-4-15-050467-0
本体 ¥920+税

* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 4 6 7 0 *

朝日新聞 2018/02/04



がん〜4000年の歴史〜<下>(ハヤカワ文庫 NF 468)

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

古代エジプト人を悩まし、現在も年間 700 万の命を奪う「がん」。現役医師が患者や医学者らの苦闘を鮮烈に綴る名著。解説／仲野徹

2016:6./ 489p

978-4-15-050468-7

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/02/04



今日から第二の患者さん がん患者家族のお役立ちマニュアル(ビッグコミックススペシャル)

青鹿 ユウ 著

小学館

初めての【患者家族】目線闘病エッセイ!患者家族の「あるある!」なお悩みに寄り添いつつ、すぐに役立つ解決策を提案!あなたや家族がまだ病気じゃなくても、いざという時ためになる!お役立ち実録コミック登場!!

2017:5./ 192p

978-4-09-189576-9

本体 ¥833+税



朝日新聞 2018/02/04



源氏物語<1> 桐壺-末摘花(岩波文庫 黄版 15-10)

紫式部 著

岩波書店

世界最古の長編小説「源氏物語」全 54 帖の、新日本古典文学大系版による精密な原文、最新の成果を盛り込んだ注解・補訳を掲載。1 は、桐壺から末摘花までの 6 帖を収録する。

2017:7./ 612p

978-4-00-351015-5

本体 ¥1,320+税



朝日新聞 2018/02/04



アメリカの汚名〜第二次世界大戦下の日系人強制収容所〜

リチャード・リーヴス、園部 哲 著

白水社

人種差別、排外主義、恐怖と表裏をなす報復感情-。戦時中、日系アメリカ人が直面した人種差別と隔離政策の恐ろしい実態を描いたノンフィクション。合衆国史に連綿としてある暗部を暴き、警鐘を鳴らした問題作。

2017:11./ 345p,27p 図

版 16p

978-4-560-09583-6

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/02/04



運慶のまなざし〜宗教彫刻のかたちと霊性〜

金子 啓明 著

岩波書店

運慶作品を畏敬する日本彫刻史研究者が、彫像の視線と、運慶自身の宗教者としての視点という 2 つの「まなざし」から運慶の本質に迫る。豊富な図版を交え、両者の交点を掘り下げ、宗教的霊性と「かたち」の力を明らかにする。

2017:11./ 21p,300p,3p

978-4-00-022237-2

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/02/04



源氏物語<2> 紅葉賀-明石(岩波文庫 30-015-11)

紫式部、柳井 滋、室伏 信助、大朝 雄二、鈴木 日出男、藤井 貞和、今西 祐一郎 著

岩波書店

世界最古の長編小説「源氏物語」全 54 帖の、新日本古典文学大系版による精密な原文、最新の成果を盛り込んだ注解・補訳を掲載。2 は、紅葉賀から葵、花散里、明石までの 7 帖を収録する。

2017:11./ 622p

978-4-00-351016-2

本体 ¥1,320+税



朝日新聞 2018/02/04



文学問題<F+f>+

山本 貴光 著

幻戯書房

夏目漱石の「文学論」を原文に即して読み解くとともに、重要箇所を抜粋して現代語訳を施す。また、漱石の文学論を通じて古今東西の作品を検討し、来たるべき「文学論」の姿を浮かび上がらせる。ブックガイドなども収録。

2017:11./ 539p,50p

978-4-86488-135-7

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/02/04



深読み日本文学(インターナショナル新書 016)

島田 雅彦 著

集英社インターナショナル

芥川賞選考委員の作家による、異色の日本文学論。「『源氏物語』がつくった”色好み”の伝統」「ライトノベルのルーツ『好色一代男』」「文学とテクノロジー」など、古典からAI小説までを独自の切り口で解説。

2017:12./ 237p

978-4-7976-8016-4

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/02/04



コリーニ事件(創元推理文庫 Mシ 15-3)

フェルディナント・フォン・シーラッハ、酒寄 進一 著

東京創元社

殺人事件の国選弁護人になった新米弁護士ライネン。だが被害者は、親友の祖父だった…。作中に潜む、驚愕すべき“法律の落とし穴”。刑事事件専門の著名な弁護士が研ぎ澄まされた筆で描く、圧巻の法廷劇。

2017:12./ 216p

978-4-488-18604-3

本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/02/04



宇宙飛行の父ツィオルコフスキー～人類が宇宙へ行くまで～

的川 泰宣 著

勉誠出版

幼少期に病気で聴力を失うも、独学でロケットの理論を打ち立てたロシア人科学者・ツィオルコフスキー。人類を宇宙に飛ばすことを夢見て、知性と理論による驚異的な未来予想で科学を発展させた「ロケット推進の父」の伝記。

2017:11./ 9p,306p

978-4-585-22196-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/04



語る歴史、聞く歴史～オーラル・ヒストリーの現場から～(岩波新書 新赤版 1693)

大門 正克 著

岩波書店

経験を語り、聞くという営みはどう紡がれてきたのか。幕末明治の回顧、戦前の民俗学、戦争体験、70年代の女性たちの声、そして現在の、それぞれの<現場>を訪ね、著者自身の経験も含めて考察し、歴史学の可能性を展望する。

2017:12./ 12p,263p

978-4-00-431693-0

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/02/04



ダーク・ジェントリー全体論的探偵事務所(河出文庫 ア 4-6)

D.アダムス、安原 和見 著

河出書房新社

ケンブリッジ周辺で次々と発生する奇怪な事件に巻き込まれたリチャードは、旧友の私立探偵ダーク・ジェントリーに助けを求める。「あらゆる謎を万物の関連性から解きほぐす」と豪語するうさんくさい探偵が調査に向かった先は?

2017:12./ 410p

978-4-309-46456-5

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/02/04



炎の牛肉教室!(講談社現代新書 2456)

山本 謙治 著

講談社

「松阪牛」と「米沢牛」の味の違いは? 「A5」ランクは美味しいの? 熟成肉は腐敗した肉!? 本物の牛肉を食べたい人のための教養書。巻末に「美味しい牛肉を食べられる販売店・飲食店リスト」付き。

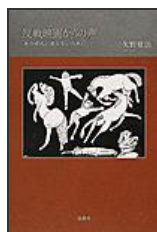
2017.12./ 222p

978-4-06-288456-3

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/02/04



反戦映画からの声〜あの時代に戻らないために〜

矢野 寛治 著

弦書房

戦争は誰が起こすのか、誰が煽るのか、誰が得をするのか。戦争の無残さ、悲惨さを描いた 42 本の反戦映画から、戦前?戦後の実相を読み解く。映画を作った監督たち、演じた俳優たちも紹介。『西日本新聞』夕刊連載を書籍化。

2017.12./ 217p

978-4-86329-162-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/02/04



江副浩正

馬場 マコト、土屋 洋 著

日経BP社

数多くの経済人から偉大な先駆者、経営者と仰がれている、リクルート創業者・江副浩正。その実像に迫り、彼だけが見ていた世界、めざしたもの、そこに挑む思考と行動を明らかにする。

2017.12./ 493p

978-4-8222-5868-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/02/04



日本現代怪異事典

朝里 樹 著

笠間書院

こっくりさん、口裂け女、トイレの花子さん…。戦後から 2000 年前後にネット上に登場する怪異まで、日本を舞台に語られた 1000 種類以上の怪異を紹介する。類似怪異、出没場所、都道府県別などの索引付き。

2018.1./ 500p

978-4-305-70859-5

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/02/04



この星の忘れられない本屋の話

ヘンリー・ヒッチングズ 編

浅尾 敦則 著

ポプラ社

北京の食品マーケットに隣接する隠れ家のような書店から、ワシントン DC、ベルリン、ナイロビ、イスタンブールの古書店街まで。世界各地の作家 15 人が、身近な本屋や古本屋にまつわる話を綴ったアンソロジー・エッセイ集。

2017.12./ 271p

978-4-591-15665-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/04



源氏物語〜A・ウェイリー版〜<1>

紫式部、アーサー・ウェイリー、毬矢 まりえ、森山 恵 著

左右社

約 100 年前、イギリスのアーサー・ウェイリーが流麗で文学的に英訳した紫式部「源氏物語」を読みやすい日本語に再翻訳。登場人物の名前はカタカナで表記し、原著の和歌を挿入する。1 は、桐壺から明石までを収録。

2017.12./ 685p

978-4-86528-163-7

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/02/04



イメージファイト(KC Kiss)

藤緒 あい 著

講談社

気持ち悪いオタク男子として教室で生きる茅野。まわりからかわいいと褒められながら教室で生きる繭。繭が茅野の好きな魔法少女のアニメに似ていること以外、接点がなかったはずの2人の世界があるときから混じりはじめ...

朝日新聞 2018/02/04

2018:1./ 176p

978-4-06-510815-4

本体 ¥429+税



「在日」を生きる～ある詩人の闘争史～(集英社新書 0910)

金 時鐘、佐高 信 著

集英社

在日一世として、南北の分断や弾圧、差別、数多くの歴史の修羅場を超えてきた詩人・金時鐘。その抵抗と創作の歩みから浮かび上がる凄絶な戦後史に、反骨の言論人・佐高信が迫る。

朝日新聞 2018/02/04

2018:1./ 186p

978-4-08-721010-1

本体 ¥700+税



宿命の戦記～笹川陽平、ハンセン病制圧の記録～

高山 文彦 著

小学館

世界の果てまで薬を届け、虐げられたハンセン病患者とともに差別撤廃に挑む、日本財団会長・笹川陽平。彼の世界規模のハンセン病制圧活動に密着取材した、足掛け7年の記録。

朝日新聞 2018/02/04、産経新聞 2018/02/11

2017:12./ 461p

978-4-09-379899-0

本体 ¥1,900+税



超訳西郷隆盛語録～大きな心で生きろ～

齋藤 孝 著

キノブックス

明治維新の中核を担った薩摩藩士、西郷隆盛。戊辰戦争で敵方だった庄内藩士が聞き書きにより残した「南洲翁遺訓」を中心に、書簡や逸話などに残る珠玉の「西郷の言葉」を採り上げ、現代風にわかりやすく?み砕いて紹介する。

朝日新聞 2018/02/04、読売新聞 2018/02/04

2017:12./ 221p

978-4-908059-86-5

本体 ¥1,500+税



英語教育の危機(ちくま新書 1298)

鳥飼 玖美子 著

筑摩書房

中学校・高校の英語の授業で日本語が使用禁止!? 小学校で「英語」が始まって、教えられる先生がいない! 第一人者が、2020年施行の新学習指導要領による英語教育改悪について検証し、英語教育を問いなおす。

朝日新聞 2018/02/04、日本経済新聞 2018/02/10

2018:1./ 213p,7p

978-4-480-07109-5

本体 ¥780+税



目に見えない世界を歩く～「全盲」のフィールドワーク～(平凡社新書 862)

広瀬 浩二郎 著

平凡社

目が見えないからこそ見える世界とは。障害当事者の立場から盲人史研究に取り組み、現在は独自の<触文化論>を展開する文化人類学者が、その半生と研究の最前線を綴る。ジャケットに点字あり。

朝日新聞 2018/02/04、毎日新聞 2018/02/11

2017:12./ 259p

978-4-582-85862-4

本体 ¥820+税





チャップリン自伝～栄光と波瀾の日々～(新潮文庫 チ-2-2)

チャップリン 著

新潮社

アメリカン・ドリームを体現し、名作を次々と世に送り出したチャップリン。私生活では 2 度の離婚を体験し、戦後は「赤狩り」で米国を追放され…。『喜劇王』の後半生を自らふりかえって描く。

2018:1./ 688p

978-4-10-218504-9

本体 ¥990+税



朝日新聞 2018/02/04、毎日新聞 2018/02/11



現代韓国の思想～一九八〇～一九九〇年代～

尹 健次 著

岩波書店

激動の韓国現代史のなかで、韓国の知識人は、そして彼らの思想はどんな試練に直面し、どう生き抜いてきたのか。80 年代以降を中心に今日までの韓国社会や国際関係の変容、労働運動などに即して彼らの営みと格闘を跡づける。

2000:9./ 308p,27p

978-4-00-022711-7

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/02/11



恐るべき子供たち(光文社古典新訳文庫)

コクトー 著

光文社

朝日新聞 2018/02/11

2007:2./ 262p

978-4-334-75122-7

本体 ¥620+税



先進国・韓国の憂鬱～少子高齢化、経済格差、グローバル化～(中公新書 2262)

大西 裕 著

中央公論新社

少子高齢化、貧困問題、社会保障制度の未整備…。韓国が直面する問題に対して、歴代政権はいかなる結果をもたらしたのか。朴槿恵の舵取りによって、韓国はどこに向かうのか。指導者と政策を通して、隣国の姿を浮き彫りにする。

2014:4./ 6p,264p

978-4-12-102262-2

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/02/11



呪文

星野 智幸 著

河出書房新社

寂れゆく松保商店街に現れた若きリーダー凶領は、商店街の大改革に着手した。彼が囁く希望という名の毒は、静かに街を冒しはじめ…。現代日本の悪夢を描く、著者最高傑作。『文藝』掲載を単行本化。

2015:9./ 242p

978-4-309-02397-7

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/02/11



日韓外交史～対立と協力の 50 年～(平凡社新書 795)

趙 世暎、姜 喜代 著

平凡社

日韓基本条約の締結から 50 年。日韓関係の未来のために、北東アジア情勢分析の第一人者が、半世紀の両国の交流と対立の歴史を検証。

2015:11./ 301p

978-4-582-85795-5

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/02/11



ポピュリズムとは何か～民主主義の敵か、改革の希望か～(中公新書 2410)

水島 治郎 著

中央公論新社

イギリスの EU 離脱、反イスラム、反エリート、トランプ米大統領誕生…。世界を揺さぶる「熱狂」の正体とは?ポピュリズム(大衆迎合主義)が西欧から南北アメリカ、日本まで席卷する現状を分析し、その本質に迫る。

2016:12./ 4p,244p

978-4-12-102410-7

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/02/11



日本の近代とは何であったか～問題史的考察～(岩波新書 新赤版 1650)

三谷 太郎 著

岩波書店

政党政治、資本主義、植民地帝国、そして天皇制。これらの成り立ちから浮かび上がる、日本近代の特質とは。バジヨットが提示したヨーロッパの「近代」概念に照らしながら、日本近代のありようについて問題史的に考察する。

2017:3./ 4p,276p,4p

978-4-00-431650-3

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/02/11



欲望の資本主義～ルールが変わる時～

丸山 俊一、NHK「欲望の資本主義」制作班、安田 洋祐 著

東洋経済新報社

果てしない欲望が世界を覆い続ける中で、資本主義のルールはいつどのように変わったのか?NHK 人気番組待望の書籍化!

2017:3./ 243p

978-4-492-37119-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/02/11



定年後～50 歳からの生き方、終わり方～(中公新書 2431)

楠木 新 著

中央公論新社

第二の人生をどう充実させたらよいか。シニア社員、定年退職者、地域で活動する人々への取材を通じ、定年後に待ち受ける「現実」を明らかにし、真に豊かに生きるためのヒントを提示する。

2017:4./ 11p,221p

978-4-12-102431-2

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/02/11



バッタを倒しにアフリカへ(光文社新書 883)

前野ウルド浩太郎 著

光文社

人類を救うため、そして「バッタに食べられたい」という自身の夢を叶えるために-。昆虫学者である著者が、バッタ被害を食い止めるため単身サハラ砂漠に乗り込み、バッタと大人の事情を相手に繰り広げた死闘の日々を綴る。

2017:5./ 378p

978-4-334-03989-9

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/02/11



未来の年表～人口減少日本でこれから起きること～(講談社現代新書 2431)

河合 雅司 著

講談社

大学倒産、介護離職増大、輸血用血液不足、空き家激増、火葬場不足-。少子高齢という「静かなる有事」に立ち向かうために、日本の未来図を時系列に沿って、かつ体系的に解き明かし、適切な対策を提示する。

2017:6./ 206p

978-4-06-288431-0

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/02/11



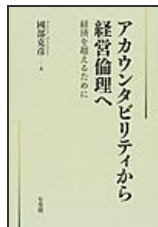
ベスト・エッセイ<2017>

日本文藝家協会 編
光村図書出版

エッセイの名人たちの手にかかる、2016 年はこんなに面白い年だったのか。武田砂鉄、阿川佐和子、林真理子、町田康、リービ英雄ら、一流文筆家の名文を収録。日本文藝家協会編纂のエッセイ・アンソロジー。

朝日新聞 2018/02/11

2017:6./ 323p
978-4-8138-0002-6
本体 ¥2,000+税



アカウントビリティから経営倫理へ～経済を超えるために～

國部 克彦 著
有斐閣

アーレントとデリダを全体のモチーフに、公共性・責任・正義をめぐる哲学に基礎を置いて、経済学的な思考枠組みを超えるための会計学を再構築。経済というシステムに対抗する実践を自律的に展開可能にする制度設計を展望する。

朝日新聞 2018/02/11

2017:12./
10p,205p,20p
978-4-641-16513-7
本体 ¥2,700+税



AI が変えるクルマの未来～自動車産業への警鐘と期待～

中村 吉明 著
NTT出版

EV、自動運転、シェア、コネクテッドカー、激変する世界市場のなかで、既存の自動車メーカーは生き残れるのか？ 技術と制度に通暁した元経産官僚が、自動車産業の変革の動きを丹念に整理し、今後の方向性を示唆する。

朝日新聞 2018/02/11

2017:12./ 6p,222p
978-4-7571-2368-7
本体 ¥1,600+税



生きていくあなたへ～105 歳どうしても遺したかった言葉～

日野原 重明 著
幻冬舎

私が言葉によって支えられてきたように、迷い傷ついたあなたの心へ、私の言葉が届くことを願っています。105 歳の医師、日野原重明が、死の直前まで語った、希望と感謝のメッセージ。生前に書き溜めていた言葉も収録する。

朝日新聞 2018/02/11

2017:9./ 210p
978-4-344-03172-2
本体 ¥1,000+税



写真で辿る折口信夫の古代(角川ソフィア文庫 J110-3)

芳賀 日出男 著
KADOKAWA

「古代」を知ることによって全生涯をかけてきた折口信夫。万葉の旅から沖縄への旅、芸能史への展開まで、彼の研究の流れに沿って、「日本人の心の原点」ともいえる写真に解説を付して収録する。

朝日新聞 2018/02/11

2017:12./ 269p
978-4-04-400327-2
本体 ¥1,560+税



核兵器と原発～日本が抱える「核」のジレンマ～(講談社現代新書 2458)

鈴木 達治郎 著
講談社

「核の傘」は日本国民を本当に守ってくれるのか？ なぜ自民党は原発政策を逆行させようとするのか？ 原子力委員会の元委員長代理が、日本の核の真実を明かす。

朝日新聞 2018/02/11

2017:12./ 214p
978-4-06-288458-7
本体 ¥800+税





共感のレッスン～超情報化社会を生きる～

植島 啓司、伊藤 俊治 著

集英社

インターネットや SNS の発達により、人はかつてないほどの大量の情報に取り囲まれて暮らしている。身体性や無意識に着目し、今こそ必要なコミュニケーションの原型を探る刺激的な対論。『すばる』連載を単行本化。

2017:12./ 195p

978-4-08-771127-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/02/11



雑草はなぜそこに生えているのか～弱さからの戦略～(ちくまプリマー新書 291)

稲垣 栄洋 著

筑摩書房

「踏まれたら立ち上がらない!」がたくましさの秘密。道ばたや畑など、自然界にはない特殊な環境に適応し、特殊な進化を遂げた特殊な植物「雑草」の謎に迫る。「植物はなぜ動かないのか?」の続編。

2018:1./ 213p

978-4-480-68995-5

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/02/11



議院内閣制～変貌する英国モデル～(中公新書 2469)

高安 健将 著

中央公論新社

EU 離脱の混乱、政治不信…。危機に直面した英国は、国家構造を改革し、議院内閣制を変貌させる道を選んだ。議院内閣制の象徴である英国政治の根源を探求し、そこに生じている変化を解き明かす。

2018:1./ 5p,288p

978-4-12-102469-5

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/02/11



ひさかたのおとこ(アフタヌーン KC)

石井 明日香 著

講談社

小笠原周辺の小さな島「青島」に赴任することになったカタブツ教師・巽(たつみ)は、自分の常識では計り知れない現象にあう。それはいつからか忘れてしまったような、自然のもたらすあたたかいファンタジー。

2018:1.

978-4-06-510730-0

本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/02/11



奇跡の人(双葉文庫 は-26-02)

原田 マハ 著

双葉社

時は明治、青森県弘前。「盲目で、耳が聞こえず、口も利けない」少女のため、アメリカ帰りの旧幕臣の娘・安が教育係として招かれた。ふたりは苦難の道をゆく…。

2018:1./ 430p

978-4-575-52071-2

本体 ¥722+税



朝日新聞 2018/02/11



モビリティ進化論～自動運転と交通サービス、変えるのは誰か～

アーサー・ディ・リトル・ジャパン 著

日経BP社

大変革期にある自動車業界。中長期的なビジネスモデル変化につながり得る「自動運転」と次世代型「モビリティサービス」について、普及シナリオと既存事業への影響を考察。『日経テクノロジーオンライン』連載を基に書籍化。

2018:1./ 195p

978-4-8222-5828-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/11



?
星野 智幸 著
新潮社
炎天下の公園で、涙が止まらない人で溢れかえる世界で、人間が貨幣となり自らを売買する社会で。自分ではない何かになりたいと切望する人々が、自らの物語を語り始め…。連環する9つの物語。『新潮』他掲載に加筆し単行本化。

2018:1./ 265p
978-4-10-437204-1
本体 ¥1,600+税
* 9 7 8 4 1 0 4 3 7 2 0 4 1 *

朝日新聞 2018/02/11



恋する狐(光文社文庫 お 51-2)
折口 真喜子 著
光文社
皆が浮かれ、賑やかに踊るやすい祭り。商家で歓待を受けた蕪村が機嫌よく帰途につくと、草むらから若い公達が現れ…。画家で俳人の与謝蕪村が出会った、愛おしい人々と、いたずら好きの物の怪たち。全9編を収めた妖異奇譚。

2018:1./ 227p
978-4-334-77593-3
本体 ¥580+税
* 9 7 8 4 3 3 4 7 7 5 9 3 3 *

朝日新聞 2018/02/11



名門高校青春グルメ
鈴木 隆祐 著
辰巳出版
オムライス、生姜焼き定食、ラーメン…。名門校に名門グルメあり! 首都圏エリアの名店を中心に、北は北海道から南は九州まで、各地の名門高校を訪ね、食べた青春ソウルフード 200 軒以上を紹介。

2018:2./ 239p
978-4-7778-2009-2
本体 ¥1,600+税
* 9 7 8 4 7 7 7 8 2 0 0 9 2 *

朝日新聞 2018/02/11



ビジネスパーソンが介護離職をしてはいけないこれだけの理由
酒井 穰 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
仕事と介護を両立させるためには? 企業の取締役を務めながら 20 年以上母の介護をした著者が、介護離職に関する誤解を考察し、介護離職を避けるための具体的な方法を紹介。介護と肯定的に向き合うための指針も示す。

2018:1./ 188p
978-4-7993-2214-7
本体 ¥1,400+税
* 9 7 8 4 7 9 9 3 2 2 1 4 7 *

朝日新聞 2018/02/11



シベリア抑留最後の帰還者～家族をつないだ 52 通のハガキ～(角川新書 K-186)
栗原 俊雄 著
KADOKAWA
未完の悲劇、シベリア抑留。最後の帰還者の一人、佐藤健雄さんが妻や娘たちと交わしたハガキが見つかった。ソ連は文書の持ち出しを固く禁じていた。一つの家族がつないだ奇跡の一次資料を基に、終わらなかった戦争を描く。

2018:1./ 273p
978-4-04-082175-7
本体 ¥820+税
* 9 7 8 4 0 4 0 8 2 1 7 5 7 *

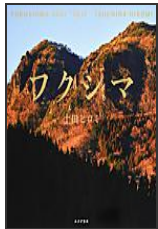
朝日新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/18、毎日新聞 2018/02/25



ヒロシマ 2005
土田 ヒロミ 著
NHK出版
被爆体験記「原爆の子」の著者たちの文。1978 年のポートレート。そして 2005 年の当事者たちの証言と写真…。戦後 60 年を生きた人たちの表情と、現在の広島風景を編集構成した、「ヒロシマの深層」を想起させる一冊。

2005:12./ 142p
978-4-14-081079-8
本体 ¥2,600+税
* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 0 7 9 8 *

朝日新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/25



フクシマ〜2011-2017〜

土田 ヒロミ 著
みすず書房

四季に移ろう風景から人々が退避しなくてはならなくなった福島。タラの芽の畑の春夏秋冬、放置された家庭菜園、耕地を埋め尽くす太陽光発電パネル…。放射能汚染地域の自然の変容を「定点観測」でとらえた写真集。

2018:1./ 195p
978-4-622-08669-7
本体 ¥12,000+税



朝日新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/25



ギリシア人の物語<1> 民主政のはじまり

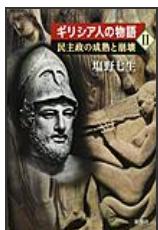
塩野 七生 著
新潮社

名作『ローマ人の物語』へとつながる「それ以前の世界」、西洋文明の源流を描く新シリーズ!民主主義を生んだ壮絶な戦争の真相とは。

2015:12./ 353p
978-4-10-309639-9
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/17



ギリシア人の物語<2> 民主政の成熟と崩壊

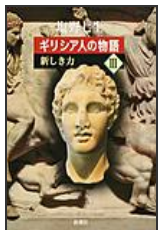
塩野 七生 著
新潮社

大国ペルシアを打破した民主政アテネ。ペリクレスの手腕によりエーゲ海の盟主として君臨し、その栄光は絶頂をむかえた。だが、デマゴグが煽動するポピュリズムが台頭すると、アテネはスパルタとの泥沼の戦争へと突き進み…。

2017:1./ 413p
978-4-10-309640-5
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/17



ギリシア人の物語<3> 新しい力

塩野 七生 著
新潮社

夢見るように生き、炎のように燃え尽きた「永遠の青春」アレクサンダー大王。なぜ、彼だけが後の人々から、「大王」と呼ばれるようになったのか。その唯一無二の生に肉薄した歴史長編。完結。

2017:12./ 464p,13p
978-4-10-309641-2
本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/17



クレヨンで描いたおいしい魚図鑑

加藤 休ミ 著
晶文社

鮭の塩焼き、焼きたらこ、金目鯛の煮つけ、お寿司…。北海道で新鮮な魚をたくさん食べて育った著者が、おいしい料理となった魚たちをクレヨンで描いた魚図鑑。

2018:1./ 55p
978-4-7949-6984-2
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/02/11、毎日新聞 2018/02/11



ゲド戦記<1> 影との戦い(岩波少年文庫)

アーシュラ・K.ル＝グウィン 著
岩波書店

大魔法使いオジオンに、その才能を見出された少年ゲドは、魔法の学院に入る。得意になった彼は禁じられた呪文を唱えてしまい、〈影〉を呼び起こし、果てしない戦いに引きこまれていく。

2009:1./ 318p
978-4-00-114588-5
本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/02/18



言葉と物～人文科学の考古学～

ミシェル・フーコー、渡辺一民 著

新潮社

今世紀における思想の危機、人間の危機とはいったい何を意味するのか？ 文化人類学、言語学、精神分析学等の試みの基盤を精密な論証によって明示する革命的大著。

1989:8./ 413,61p

978-4-10-506701-4

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/02/18



風の十二方位(ハヤカワ文庫)

アーシュラ・K.ル＝グウィン 著

早川書房

朝日新聞 2018/02/18

1980:7./ 453p

978-4-15-010399-6

本体 ¥1,140+税



闇の左手(ハヤカワ文庫 SF 252)

アーシュラ・K.ル＝グウィン 著

早川書房

朝日新聞 2018/02/18

1981:1./ 379p

978-4-15-010252-4

本体 ¥880+税



空飛び猫(講談社文庫)

アーシュラ・K.ル＝グウィン、村上 春樹、S. D. シンドラー 著

講談社

朝日新聞 2018/02/18

1996:4./ 78p

978-4-06-263210-2

本体 ¥743+税



トム・ソーヤーの冒険(光文社古典新訳文庫 KAト4-1)

トウェイン 著

光文社

トム・ソーヤーは悪さと遊びの天才だ。退屈な教会の説教をクワガタ 1 匹で忍び笑いの場に変えたり、家出して親友のハックたちと海賊になってみたり。だがある時、偶然に殺人現場を目撃してしまい…。

2012:6./ 540p

978-4-334-75251-4

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/02/18



うちのダンナは野菜バカ。

仔鹿 リナ 著

ぶんか社

果物と会話し、妻より野菜を優先する。青果を愛しすぎて、言葉も行動もおかしなことに!? 青果市場で働くダンナとの日常を描いたコミックエッセイ。『別冊本当にあった笑える話』掲載に描き下ろしを加える。

2015:2./ 130p

978-4-8211-4399-3

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/02/18



ファンタジーと言葉(岩波現代文庫)

アーシュラ・K.ル=グウィン、青木 由紀子 著

岩波書店

「ゲド戦記」の作者ル=グウィンが、鋭い言語感覚とウィットに富んだ文章で、ファンタジーを紡ぐ想像力や言葉、さらに生い立ちや子どもの頃の思い出、愛読書などについて自由に、軽やかに語る。おもな邦訳作品のリスト付き。

2015:3./ 9p,345p

978-4-00-602260-0

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2018/02/18



父を想う～ある中国作家の自省と回想～

閻 連科、飯塚 容 著

河出書房新社

厳しくも慈愛溢れる父や伯父の生き様は古き良き中国を体現していた。文革、貧困、戦争……ノーベル賞候補作家による感動のエッセイ。

2016:5./ 223p

978-4-309-20704-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/02/18



ベ切本

左右社編集部 編

左右社

なぜか勇気がわいてくる!夏目漱石、谷崎潤一郎、谷川俊太郎、吉本ばなな、西加奈子ら、明治から現在にいたる 90 人の書き手たちによる、泣けて笑えて役に立つベ切にまつわるエッセイ・手紙・日記・対談などを収録する。

2016:9./ 365p

978-4-86528-153-8

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/02/18



ベ切本<2>

左右社編集部 編

左右社

明治から平成、そして海外まで。幻覚を振り払い、地方に逃亡して、それでも筆を執る作家たち。ベ切と堂々と戦ってきたベ切のプロたちの作品を集めたアンソロジー。勇気と慟哭の 80 編。

2017:10./ 386p

978-4-86528-177-4

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/02/18



考える練習帳

細谷 功 著

ダイヤモンド社

AI が職場に進出する時代に、人間に必要とされるのが「考える力」。なぜ考えることが必要なのか? どうすれば思考停止から抜け出せるのか? AI 時代を生き抜くために、眠れる思考回路を起動させる方法を伝える。

2017:10./ 263p

978-4-478-10097-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/02/18



ラテンアメリカ五〇〇年～歴史のトルソー～(岩波現代文庫)

清水 透 著

岩波書店

ヨーロッパによる「発見」以来、約 500 年にわたるラテンアメリカの歴史は、何を問いかけるのか。メキシコを主なフィールドとし、「発見」される側に寄り添う視点から考察を重ねてきた著者が、既成の歴史観を問い直す講義録。

2017:12./ 9p,322p

978-4-00-600372-2

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/02/18



世界神話学入門(講談社現代新書 2457)

後藤 明 著

講談社

なぜ世界中でよく似た神話が見られるのか? 近年の人文科学におけるエキサイティングな仮説、世界神話学説を検証。最新の神話研究と DNA 研究のコラボが、ホモ・サピエンスの壮大なドラマを解き明かす。

2017.12./ 282p

978-4-06-288457-0

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/02/18



漱石を知っていますか

阿刀田 高 著

新潮社

はっきり言って、小説は上手くない。じゃあ、なにが凄かったのか? 実作者の目から創作技法・文章術・作家心理をやさしく解説。主要 13 作の読みどころもわかる、漱石文学の超入門書。『小説新潮』連載を単行本化。

2017.12./ 349p

978-4-10-334330-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/18



ガンディー～平和を紡ぐ人～(岩波新書 新赤版 1699)

竹中 千春 著

岩波書店

誰が平和をつくるのか。その人はどこから来るのか。非暴力不服従により社会を民衆の側から変革しようとしたガンディーの人生を辿り、その答えを探す。マハトマ(偉大なる魂)と呼ばれた人の熱き評伝。

2018.1./ 11p,226p,4p

978-4-00-431699-2

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/02/18



パノララ(講談社文庫 し 91-3)

柴崎 友香 著

講談社

友人のイチローの家に間借りすることになった 28 歳の真紀子。彼の家族は一癖ある人ばかり。ある日、イチローは、自分はおなじ 1 日が 2 回繰り返されることがあると真紀子に打ち明ける。それから日常がゆがみ始め...

2018.1./ 585p

978-4-06-293843-3

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/02/18



核戦争の瀬戸際で

ウィリアム・J.ペリー、松谷 基和 著

東京堂出版

核戦争の危機は、冷戦終結とともに消滅したわけではない。60 年代のキューバ危機、90 年代の北朝鮮危機に深く関与した元アメリカ国防長官が、安穩と暮らす我々へ警鐘を鳴らす。

2018.1./ 318p

978-4-490-20978-5

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/02/18



ガウディ完全ガイド

ガウディ、クリスティーナ・モンテス 編

ガウディ、西森 陸雄、安藤 宗一郎、根本 玲子 著

エクスナレッジ

カサ・ビセンソ、サグラダ・ファミリア聖堂、グエル邸、グエル公園、カサ・バトリョ、カサ・ミラ...。建築の新潮流の扉を開いたアントニ・ガウディの作品を写真で紹介。ガウディの生涯なども解説する。

2017.12./ 239p

978-4-7678-2409-3

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2018/02/18



農業からあらゆる産業をIoTでつなぎまくる、NTTドコモアグリガールの突破力
NTTドコモ IoT デザインプロジェクトチーム 著
日経BP社
NTTドコモの女性社員 2 人から始まった農業 IoT 化プロジェクトが、国を動かす一大事業に！ プロジェクト立ち上げまでの軌跡を紹介し、どうすれば会社を動かし、イノベーションを起こせるのか、そのヒントを伝える。

2017:12./ 239p
978-4-8222-5894-8
本体 ¥1,600+税
* 9 7 8 4 8 2 2 5 8 9 4 8 *

朝日新聞 2018/02/18



八百森のエリー<1>(モーニング KC)
仔鹿 リナ 著
講談社
仲卸業の基本は「必要な商品を」「必要な数量」「必要な場所に」「必要な時間に」届けること。「八百森青果」の新入社員、エリー(卯月瑛利)と、のりたま(大虎倫珠)が畑からあなたのテーブルへすべての野菜を届けます！

2018:1./ 192p
978-4-06-510830-7
本体 ¥570+税
* 9 7 8 4 0 6 5 1 0 8 3 0 7 *

朝日新聞 2018/02/18



われら(集英社文庫 サ 7-1)
エヴゲーニイ・ザミャーチン、小笠原 豊樹 著
集英社
人々に名前はなく、ナンバー制。その行動は画一化され、建物はガラス張り。そして頂点に君臨する「慈愛の人」に逆らう者は、「機械」によって抹消される。1920年代初頭にロシアで書かれたディストピア小説の先駆的名著。

2018:1./ 323p
978-4-08-760743-7
本体 ¥760+税
* 9 7 8 4 0 8 7 6 0 7 4 3 7 *

朝日新聞 2018/02/18



ひねもすのたり日記 第1集(ビッグ コミックス[スペシャル])
ちば てつや 著
小学館
いつしか老作家となったマンガ家・ちばてつやは、様々な社会的役割を務め多忙だった。だが...ある日、コミック雑誌から執筆依頼が来た。オールカラーショートコミックで描く半生の記。ちばてつや 18 年振りの最新作、今ここに結実！

2018:1./ 128p
978-4-09-189830-2
本体 ¥1,111+税
* 9 7 8 4 0 9 1 8 9 8 3 0 2 *

朝日新聞 2018/02/18



ギガタウン〜漫符図譜〜
こうの 史代 著
朝日新聞出版
うさぎ一家と動物たちが繰り広げるほんわか日常生活を、鳥獣戯画へのオマージュを込めてユーモラスに描いた 4 コマ漫画。漫画特有の表現記号=漫符の解説付き。『一冊の本』連載を単行本化。

2018:1./ 119p
978-4-02-251512-4
本体 ¥840+税
* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 5 1 2 4 *

朝日新聞 2018/02/18



男性という孤独な存在〜なぜ独身が増加し、父親は無力化したのか〜(PHP 新書 1128)
橘木 俊詔 著
PHP研究所
ほとんどの男が結婚できる時代は「異常」だった。家族の絆が急速に弱くなり、家庭における男親の地位は低下の一途を辿っている。格差論の第一人者が、家族の歴史をひもときながら男の役割の低下を論じる。

2018:1./ 222p
978-4-569-83746-8
本体 ¥860+税
* 9 7 8 4 5 6 9 8 3 7 4 6 8 *

朝日新聞 2018/02/18



家と庭と犬とねこ(河出文庫 い 41-1)

石井 桃子 著

河出書房新社

季節のうつろい、子ども時代の思い出、戦後すぐの東北での開墾生活、一緒に暮らした犬やねこのこと…。日々のできごとを生き活きと、女性らしい細やかな筆致で綴る、作家・翻訳家、石井桃子の生活随筆集。

2018:2./ 250p

978-4-309-41591-8

本体 ¥680+税



朝日新聞 2018/02/18



文豪の朗読(朝日選書 969)

朝日新聞社 編

朝日新聞出版

井伏鱒二が読む「山椒魚」、谷崎潤一郎が読む「春琴抄」…。文豪による自著の朗読を現代の作家・学者が聴き、そこから得た感興や思索、作品論、作家論を綴る。『朝日新聞』連載に朗読された文学作品の文章抜粋を加えて書籍化。

2018:2./ 203p

978-4-02-263069-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/02/18



倭の五王～王位継承と五世紀の東アジア～(中公新書 2470)

河内 春人 著

中央公論新社

中国へ使者を派遣した倭の五王。中国への“接近”の意図や状況、倭国内の不安定な王権や文化レベル、「古事記」「日本書紀」における天皇との関係などを中国史書から解説。5世紀の倭や東アジアの実態を描く。

2018:1./ 5p,246p

978-4-12-102470-1

本体 ¥860+税



朝日新聞 2018/02/18、読売新聞 2018/02/18



ハックルベリー・フィンの冒けん

マーク・トウェイン、柴田 元幸 著

研究社

少年ハックルベリー・フィン、父親やおばさんたちから逃れ、やはり逃亡してきた黒人奴隷のジムと2人で筏に乗ってミシシッピ川を旅する。原書オリジナル・イラスト174点、訳者・柴田元幸による解説も収録。

2017:12./ 552p

978-4-327-49201-4

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/02/18、毎日新聞 2018/02/18



サハラの薔薇

下村 敦史 著

KADOKAWA

研究のため、自らの手を汚した考古学者は、航空機の墜落により、砂漠横断を余儀なくされる。危険を内包したパーティに、さらに襲い来る困難の数々。やがて一行は分裂し…。『文芸カドカワ』掲載に加筆し単行本化。

2017:12./ 344p

978-4-04-105747-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/02/23



スタア誕生

金井 美恵子 著

文藝春秋

<金魚の娘>はスタアになれるかしら。モナミ美容室の女たちは噂する。50年代の映画の記憶を精緻に編みこんだ、切なく甘い長編小説。「噂の娘」の姉妹作。『群像』『文芸界』掲載を単行本化。

2018:2./ 253p

978-4-16-390800-7

本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2018/02/23



蒼き山嶺

馳 星周 著

光文社

元山岳遭難救助隊員の得丸志郎は、大学時代、山岳部で一緒だった公安刑事・池谷博史と再会。残雪期の白馬岳の山頂までのガイドを頼まれるが、池谷は警察から追われ、刺客に命を狙われていた…。『小説宝石』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/02/23

2018:1./ 336p

978-4-334-91199-7

本体 ¥1,500+税



雪の階

奥泉 光 著

中央公論新社

華族の娘・惟佐子は、親友・寿子の心中事件に疑問を抱き、新米カメラマンの千代子とともに謎を追いつめる。ふたりの前にさまざまな人物が現れ…。戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。『中央公論』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/02/23

2018:2./ 587p

978-4-12-005046-6

本体 ¥2,400+税



うみべのこねこ

宇野 克彦、西川 おさむ 著

ひさかたチャイルド

海辺に捨てられた子猫は、かにと一緒に、釣り糸が羽根にからまっていたかもめを助けました。鳥のように空を飛びたいと思った子猫は、海に落ちてしまい…。子猫が成長していく姿を描いたお話。夢をもつ大切さを伝える絵本。

朝日新聞 2018/02/24

2018:1./ 39p

978-4-86549-129-6

本体 ¥1,300+税



大根はエライ(たくさんのふしぎ傑作集)

久住 昌之 著

福音館書店

薬味として主菜の味を引き立てたり、いっしょに煮たものの味を引き立てたり。人気も実力もあるのに、どこか奥ゆかしい大根。まるでいつも脇役に徹している役者さんみたい…。月刊『たくさんのふしぎ』から生まれた絵本。

朝日新聞 2018/02/24

2018:1./ 39p

978-4-8340-8380-4

本体 ¥1,300+税



熊とにんげん

ライナー・チムニク、上田 真而子 著

徳間書店

一生を旅に生きた男と、その無二の親友だった熊の物語。生きていくために必要な、ほんの少しの大切なことが、しみじみと伝わる一冊。絵物語の名手チムニクのデビュー作を復刊。

朝日新聞 2018/02/24

2018:1./ 102p

978-4-19-864556-4

本体 ¥1,400+税



タツモリ家の食卓 超生命襲来!!(電撃文庫)

古橋 秀之 著

メディアワークス

朝日新聞 2018/02/25

2000:5./ 235p

978-4-8402-1519-0

本体 ¥510+税





タツモリ家の食卓<2> 星間協定調印(電撃文庫)

古橋 秀之 著
メディアワークス
朝日新聞 2018/02/25

2000:9./ 206p
978-4-8402-1613-5
本体 ¥510+税

* 9 7 8 4 8 4 0 2 1 6 1 3 5 *



タツモリ家の食卓<3> 対エイリアン部隊(電撃文庫)

古橋 秀之 著
メディアワークス
朝日新聞 2018/02/25

2001:1./ 204p
978-4-8402-1713-2
本体 ¥550+税

* 9 7 8 4 8 4 0 2 1 7 1 3 2 *



サムライ・レンズマン(徳間デュアル文庫)

古橋 秀之 著
徳間書店
朝日新聞 2018/02/25

2001:12./ 369p
978-4-19-905092-3
本体 ¥733+税

* 9 7 8 4 1 9 9 0 5 0 9 2 3 *



銀河パトロール隊(創元 SF 文庫)

E.E.スミス 著
東京創元社
朝日新聞 2018/02/25

2002:1./ 411p
978-4-488-60316-8
本体 ¥840+税

* 9 7 8 4 4 8 8 6 0 3 1 6 8 *

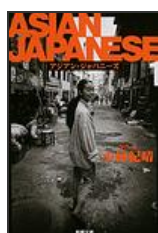


知性の構造(ハルキ文庫)

西部 邁 著
角川春樹事務所
朝日新聞 2018/02/25

2002:11./ 270p
978-4-7584-3014-2
本体 ¥680+税

* 9 7 8 4 7 5 8 4 3 0 1 4 2 *



アジア・ジャパニーズ<1>(新潮文庫)

小林 紀晴 著
新潮社
朝日新聞 2018/02/25

2004:3./ 375p
978-4-10-143921-1
本体 ¥590+税

* 9 7 8 4 1 0 1 4 3 9 2 1 1 *



アジア・ジャパニーズ<2>(新潮文庫)

小林 紀晴 著
新潮社
朝日新聞 2018/02/25

2005:1./ 405p
978-4-10-143922-8
本体 ¥629+税

* 9 7 8 4 1 0 1 4 3 9 2 2 8 *



アジア・ジャパニーズ<3>(新潮文庫)

小林 紀晴 著
新潮社
朝日新聞 2018/02/25

2005:5./ 411p
978-4-10-143923-5
本体 ¥743+税

* 9 7 8 4 1 0 1 4 3 9 2 3 5 *



妻と僕〜寓話と化す我らの死〜

西部 邁 著

飛鳥新社

重症のガンに冒され、死の淵に立つ妻。生と死の深淵を見据えつつ、女とは、男とは、夫婦とは、人生とは何か、名誉とは、孤独とは、祖国とは何かを根源から思索する作品。

2008:7./ 245p

978-4-87031-851-9

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/02/25



ソロモンの犬(文春文庫)

道尾 秀介 著

文芸春秋

朝日新聞 2018/02/25

2010:3./ 388p

978-4-16-777350-2

本体 ¥600+税



ソシオ・エコノミックス〜集団の経済行動〜

西部邁 著

中央公論新社

朝日新聞 2018/02/25

1983:1./ 300p,11p

978-4-12-000592-3

本体 ¥2,864+税



ブラックロッド(電撃文庫)

古橋 秀之 著

メディアワークス

朝日新聞 2018/02/25

1997:4./ 228p

978-4-07-306035-2

本体 ¥490+税



経済倫理学序説 改版(中公文庫 5-6)

西部 邁 著

中央公論新社

アングロサクソン文化圏の異端だったケインズとヴェブレン。時代と格闘した 2 人の経済学者の多面を捉えつつ、鋭い大衆社会批判へと論をすすめた、西部保守思想の原点的著作。

2014:7./ 246p

978-4-12-205983-2

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/02/25



大衆への反逆(文春学芸ライブラリー)

西部 邁 著

文芸春秋

保守主義の大衆化が私は怖い! 気鋭の経済学者として頭角を現した著者が論壇に鮮烈なデビューを果たした、最強のポピュリズム論。田中角栄からハイエクまでを縦横無尽に論じる。

2014:8./ 386p

978-4-16-813023-6

本体 ¥1,470+税



朝日新聞 2018/02/25



東海道中床屋ぞめき

林 朋彦 著

風人社

日本橋から、保土ヶ谷、府中、豊川、熱田神宮、大津、京都まで。東海道にある床屋さん 86 軒の昔懐かしい店構えと個性的な店内の様子を収めた写真集。

2015:4./ 92p

978-4-938643-61-4

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/02/25



ある日、爆弾がおちてきて(メディアワークス文庫 ふ 1-2)

古橋 秀之 著

KADOKAWA

「私、爆弾なんです」ーある日、空から落ちてきたのは、高校時代に気になっていた人とそっくりな女の子で……。奇才・古橋秀之が贈る、すこしふしぎなボーイ・ミーツ・ガール。書き下ろし短編を加えてリバイバル！

2017:4./ 319p

978-4-04-892886-1

本体 ¥630+税



朝日新聞 2018/02/25



貧困の戦後史～貧困の「かたち」はどう変わったのか～(筑摩選書 0153)

岩田 正美 著

筑摩書房

敗戦直後の食糧難の時代から、ホームレス、ネットカフェ難民、子どもの貧困まで。戦後日本の貧困の「かたち」がいかに変容したかを描き出し、今日における貧困問題の核心を衝く。

2017:12./ 343p

978-4-480-01659-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/25



大人の科学マガジン<Vol.45> 小さな活版印刷機(Gakken Mook)

大人の科学マガジン編集部 編

学研

レトロでかわいい活版印刷機「テキン」をふろく化。1 文字ずつ活字を拾って言葉を紡ぎ、ハンドプレスで紙に印刷する。温かみのある手作りの名刺や年賀状、メッセージカードが作れる。

2017:12./ 54p

978-4-05-611295-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/02/25



保守の真髓～老酔狂で語る文明の素乱～(講談社現代新書 2455)

西部 邁 著

講談社

世界恐慌や戦争の危機が見込まれる現在、政治や文化に関する能力を国民は身につける必要がある。歴史と国家のコモンセンスが問われているいま、大思想家・ニシベが、保守の真実を語り尽くす。

2017:12./ 265p

978-4-06-288455-6

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/02/25



寄生蟲図鑑～ふしぎな世界の住人たち～ 増補版

大谷 智通 著

講談社

カエルの脚を大改造するリペイロイア、人の顔にいるニキビダニ、脳を喰らうフォーラーネグレリア…。奇妙な生態と形態をもつ生物、寄生虫を、軽妙な解説とドラマティックなイラストで紹介するビジュアルブック。

2018:1./ 142p

978-4-06-153161-1

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/02/25



見知らぬ記憶

小林 紀晴 著

平凡社

誰しもの記憶の片隅に潜む、かつて経験し、想像した場面が、ふとした瞬間に蘇り、時空をこえて往還し、別の様相をおびる。そこにはいつも写真が-。写真+散文の新たな可能性。『こころ』掲載を書籍化。

2018:1./ 221p

978-4-582-83771-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/25



竹林精舎

玄侑 宗久 著

朝日新聞出版

恋の悩みを抱えたまま、被災地の寺に入った新米僧侶の懊悩と逡巡。ブツダの弟子になった気弱で明るい青年は、仲間と共にフクシマでどう生きるのか。福島県に住む僧侶作家が7年を経て放つ書き下ろし長篇。

朝日新聞 2018/02/25

2018:1./ 309p

978-4-02-251513-1

本体 ¥1,800+税



百万光年のちょっと先

古橋 秀之、矢吹 健太郎 著

集英社

ラブレターを書くロボット、求婚者たちの首を刎ねる姫君、刑罰によって透明になった泥棒…。『彼女』が語るのは、不思議な未来のおとぎ話。意外な結末のショートショート48本。『SFJapan』掲載に書き下ろしを追加。

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 359p

978-4-08-703444-8

本体 ¥1,300+税



限界点<上>(文春文庫 テ11-35)

ジェフリー・ディーヴァー 著

文藝春秋

凄腕の殺し屋ヘンリー・ラヴィングが、警察官ケスラーを狙っているという情報が入った。ケスラーと妻子を警護すべく、警護官コルティは急行するが、すでに敵の罠は仕掛けられていて…。2人の戦略家が演じる限界の頭脳戦!

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 295p

978-4-16-791024-2

本体 ¥750+税



限界点<下>(文春文庫 テ11-36)

ジェフリー・ディーヴァー 著

文藝春秋

殺し屋ラヴィングは、精妙な計画を立て、標的のスキを突く一流の戦略家だ。やつの狙いは何か。コルティは事件の源泉を探り、反撃の策を練りはじめるが…。プロVSプロのゲーム性を研ぎ澄ましたノンストップ・サスペンス。

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 286p

978-4-16-791025-9

本体 ¥720+税



風神の手

道尾 秀介 著

朝日新聞出版

彼/彼女らの人生は重なり、つながる…。章を追うごとに出来事の<意味>が反転しながら結ばれていく。数十年にわたる歳月を、ミステリーに結晶化した長編小説。『小説トリッパー』『朝日新聞』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/02/25

2018:1./ 418p

978-4-02-251514-8

本体 ¥1,700+税



絶滅危惧種ビジネス～量産される高級観賞魚「アロワナ」の闇～

エミリー・ボイト、矢沢 聖子 著

原書房

絶滅危惧種アロワナは、貴重な伝説の魚か、大量生産された商品か、それとも危険な外来種なのか? 業界が口を閉ざす世界屈指の高級観賞魚の謎に著者が命がけで迫るルポルタージュ。

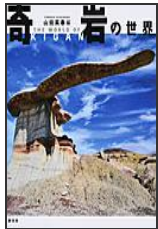
朝日新聞 2018/02/25

2018:1./ 334p

978-4-562-05466-4

本体 ¥2,200+税





奇岩の世界

山田 英春 編

創元社

水と風と熱と大地の運動が作り上げた自然の造形作品、危ういバランスでとどまっている岩、大きな岩が住居に、要塞に、墓に加工された不思議な風景…。北極圏から南極の島まで、全 88 箇所の驚きに満ちた奇岩の世界を紹介する。

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 124p

978-4-422-44013-2

本体 ¥2,000+税



海を撃つ(ポプラ文庫 よ3-1)

吉村 龍一 著

ポプラ社

北陸の漁村に育った二十歳の十兵衛は、若さゆえの過ちを犯し村を追われる。落命しかけた十兵衛を救ったのは片目の漁師。老練な突き屋を師と仰ぎ、青年は三陸の海で鉋撃ち修行を始める。狙う獲物は、“メカ”ただそれのみ。

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 207p

978-4-591-15824-1

本体 ¥640+税



少女を殺す 100 の方法

白井 智之 著

光文社

名門女子中学校の鍵のかかった教室で、生徒 20 人が死体で見つかった。教頭は、警察よりも先に犯人を捕まえようと目論むが…。少女 20 人の死をテーマに紡がれる 5 つの本格ミステリ。『小説宝島』掲載に書下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2018/02/25

2018:1./ 301p

978-4-334-91201-7

本体 ¥1,700+税



白石城死守(講談社文庫 や78-2)

山本 周五郎 著

講談社

主君伊達政宗から白石城の留守を任された浜田治部介と五十一騎。白石城は直後、上杉の猛攻を受けるが、治部介は援軍を頼まず籠城を決意する。その真意とは。表題作をはじめ「菊屋敷」など全 6 篇を収録。

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 248p

978-4-06-293849-5

本体 ¥540+税



雲上雲下

朝井 まかて 著

徳間書店

俺たち、本当に存在しているんですか？ 子狐に山姥、乙姫に天人、そして龍の子ら民話の主人公たちが笑い、苦悩し、闘う。やがて物語が交錯し、雲上雲下がひずみ始め…。『日本農業新聞』連載を改題、加筆して単行本化。

朝日新聞 2018/02/25

2018:2./ 438p

978-4-19-864559-5

本体 ¥1,700+税



トコヤ・ロード

林 朋彦 著

風人社

ちょっと中山道を歩いてみたり、以前旅先で見つけた床屋さんを再訪してみたり。気分次第でマイ「トコヤ・ロード」を旅して撮った、昔懐かしい床屋さん、94 枚。「東海道中床屋ぞめき」に続く床屋写真集、第 2 弾。

朝日新聞 2018/02/25

2018:3./ 92p

978-4-938643-78-2

本体 ¥1,400+税





保守と立憲～世界によって私が変わらないために～

中島 岳志 著

スタンド・ブックス

「リベラル保守」を掲げる政治思想家による評論集。右対左ではない、改憲か護憲かではない、二元論を乗り越える新しい世の中の見取り図を示す。立憲民主党代表・枝野幸男との対談も収録。

2018:2./ 269p

978-4-909048-02-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/02/25、読売新聞 2018/02/25



その介護離職、おまちなさい(潮新書 010)

樋口 恵子 著

潮出版社

「老老介護」「認認介護」「介護うつ」など暗いイメージが付きまとう介護。一億総介護時代を迎える日を間近に控えた今、介護する人も、される人も、自分の精神的な自由と尊厳を失わず、前向きに生きるための方法を考える。

2017:10./ 214p

978-4-267-02107-7

本体 ¥759+税



東京・中日新聞 2018/02/04



異次元緩和の真実

木内 登英 著

日本経済新聞出版社

もう異次元緩和政策はもたない。日銀審議委員として5年間活動した著者が、量的・質的金融緩和のリスクや、マイナス金利政策の問題点、金融政策の正常化、出口戦略などについて論じる。

2017:11./ 335p

978-4-532-35756-6

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2018/02/04



初期被曝の衝撃～その被害と全貌～

山田 國廣 著

風媒社

ネグレクトされた膨大な公表データから“3.11 原発事故”による汚染・被曝の真相が復活。環境学の視点より、事故の原因と責任、被害の全容を解明し、いまなお続く広域放射能汚染の実態を明らかにする。

2017:11./ 352p

978-4-8331-1123-2

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2018/02/04



松本清張「隠蔽と暴露」の作家(集英社新書 0916)

高橋 敏夫 著

集英社

松本清張の代表的作品をとおして、その表現の核にあった「隠蔽と暴露」の方法をたどるとともに、わたしたちが日常で感じる社会や国家への「疑い」を称揚し、そこにひそむ秘密を見抜く方法を明らかにする。

2018:1./ 253p

978-4-08-721016-3

本体 ¥760+税



東京・中日新聞 2018/02/04、朝日新聞 2018/02/11、東京・中日新聞 2018/02/18



九十八歳になった私

橋本 治 著

講談社

時は2046年。東京大震災を生き延びた、独居老人で元小説家の「私」のもとを、ボランティアのバーさんや、ゆとり世代の編集者など、さまざまな人たちが訪れる…。『群像』掲載の短篇と連載を長篇小説として書籍化。

2018:1./ 205p

978-4-06-220914-4

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2018/02/04、日本経済新聞 2018/02/24



シェイクスピア全集<29> アテネのタイモン(ちくま文庫 し 10-29)

シェイクスピア 著

筑摩書房

なみはずれて気前のいいアテネの貴族タイモンをとりまく人間模様。痛烈な人間不信と憎悪、カネ本位の社会を容赦なく描いたきわめて現代的な問題作。

東京・中日新聞 2018/02/11

2017:10./ 206p

978-4-480-04529-4

本体 ¥800+税



戦争とトラウマ～不可視化された日本兵の戦争神経症～

中村 江里 著

吉川弘文館

アジア・太平洋戦争期に軍部の関心を集めた戦争神経症。恐怖を言語化することが憚られた社会で、患者はどのような処遇を受けたのか。様々な医療アーカイブズや医師への聞き取りから、忘却されたトラウマを浮かび上がらせる。

東京・中日新聞 2018/02/11

2017:12./ 8p,316p,4p

978-4-642-03869-0

本体 ¥4,600+税



夜更けの川に落葉は流れて

西村 賢太 著

講談社

すべてに無気力で受動的な貫多を向日的な世界へと引き戻した佳穂。4 人目となる異性との交際はうまくいかに思われたが…。表題作をはじめ全 3 作を収録。『群像』『小説新潮』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2018/02/11

2018:1./ 181p

978-4-06-220893-2

本体 ¥1,500+税



「本を売る」という仕事～書店を歩く～

長岡 義幸 著

潮出版社

次々閉店していく街の本屋の中で、新たな挑戦を模索する現場の“知恵”と“情熱”。全国 100 書店を徹底取材。“本の目利き”たちが苦悩と逡巡、本への愛を語る。『潮』連載をもとに単行本化。

東京・中日新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/18

2018:1./ 312p

978-4-267-02112-1

本体 ¥1,600+税



原子力規制委員会～独立・中立という幻想～(岩波新書 新赤版 1690)

新藤 宗幸 著

岩波書店

福島第一原発事故をきっかけに作られた原子力規制委員会は、政権や経済界からのプレッシャーを前に、独立性と中立性を維持できているのか。その組織構造と活動内容を批判的に検証し、あるべき原子力規制システムを構想する。

東京・中日新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/17

2017:12./ 4p,225p

978-4-00-431690-9

本体 ¥820+税



ウナギ NOW～絶滅の危機!!伝統食は守れるのか?～

宮崎日日新聞社 編

静岡新聞社

「絶滅危惧種」となったウナギ。ウナギは食べられなくなるのか? それとも…。養鰻の歴史、食文化、謎の多い特異な生態など、ウナギ生産地の地元 3 紙が克明に取材、ウナギの現状を追う。『静岡新聞』等に連載を書籍化。

東京・中日新聞 2018/02/18

2016:6./ 360p

978-4-7838-2250-9

本体 ¥1,500+税





鰻(紙礫 5)

石川 博 編

皓星社

鰻はご馳走であり、生態は謎で、恐ろしく妖しい生き物…。小説、エッセイをはじめ、大伴家持の和歌、江戸の狂歌、北原白秋の詩、落語や民俗学の記述など、「鰻」のそれぞれの側面を描いた作品を収録する。編者による解説付き。

東京・中日新聞 2018/02/18

2017:2./ 283p

978-4-7744-0623-7

本体 ¥1,800+税



コンゴ共和国 マルミミゾウとホテルの行き交う森から

西原 智昭 著

現代書館

中部アフリカのコンゴ共和国で、いま何が起きているのか。熱帯林に生息するゾウやゴリラなどの生態調査、環境保全に携わる中での内戦や森林伐採業との対峙、貨幣経済の浸透が先住民に与える影響など現場のリアルを伝える。

東京・中日新聞 2018/02/18

2018:1./ 254p

978-4-7684-5823-5

本体 ¥2,200+税



治安維持法と共謀罪(岩波新書 新赤版 1689)

内田 博文 著

岩波書店

市民刑法から治安刑法への転換の象徴であった治安維持法。戦後、法の廃止に逆らい、治安維持法下の諸制度は、例外から原則の制度に逆転し、拡大された。共謀罪が創設され、いま大きく変容しつつある日本の刑事法を問う。

東京・中日新聞 2018/02/18

2017:12./ 7p,242p

978-4-00-431689-3

本体 ¥840+税



西南戦争民衆の記～大義と破壊～

長野 浩典 著

弦書房

戦争が見世物化し、様々な商売が繁盛し、農民一揆が起こり、コレラが流行した。西南戦争とは一体何だったのか。民衆側の視点から戦場の凄惨な現実を追体験し、大義なき近代戦がもたらした村社会の分断と破壊の実相を描く。

東京・中日新聞 2018/02/18

2018:1./ 285p

978-4-86329-163-8

本体 ¥2,200+税



女王ロアーナ、神秘の炎<上>

ウンベルト・エーコ、和田 忠彦 著

岩波書店

「あなたお名前は?」記憶喪失から自分を取り戻せるのか。取り戻したとしてそれは本当に自分なのか? エーコの赤裸々な妄想と姿態を晒す超・小説。戦中戦後のイタリア文化史を回顧するかのように図版を満載した異色の本。

東京・中日新聞 2018/02/25

2018:1./ 286p

978-4-00-025930-9

本体 ¥2,400+税



女王ロアーナ、神秘の炎<下>

ウンベルト・エーコ、和田 忠彦 著

岩波書店

霧に隠された「流れた時間」を奪取すべく、僕は子ども時代を過ごした田舎の家の屋根裏に潜入するが…。エーコの赤裸々な妄想と姿態を晒す超・小説。戦中戦後のイタリア文化史を回顧するかのように図版を満載した異色の本。

東京・中日新聞 2018/02/25

2018:1./ 281p

978-4-00-025931-6

本体 ¥2,400+税





登山者のための法律入門～山の法的トラブルを回避する～(ヤマケイ新書 YS039)

溝手 康史 著

山と溪谷社

落石で他人にケガをさせたら? 山で焚き火をしてもよいのか? 高校生の冬山は禁止できるか? ツアー登山の事故と責任は? 登山中に生じるさまざまな法的なトラブルと、それに巻き込まれない方法について弁護士が解説。

2018:1./ 230p
978-4-635-51048-6

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 6 3 5 5 1 0 4 8 6 *

東京・中日新聞 2018/02/25



道の向こうの道

森内 俊雄 著

新潮社

戦争の翳が色濃く残る 1950 年代の大学時代。そこには自由が、万巻の書が、文学があった。80 代を迎えた作家による自伝的連作集。『新潮』掲載を書籍化。

2017:12./ 249p

978-4-10-321605-6

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 1 0 3 2 1 6 0 5 6 *

東京・中日新聞 2018/02/25、朝日新聞 2018/02/25



ターン(新潮文庫)

北村 薫 著

新潮社

読売新聞 2018/02/04

2000:6./ 426p

978-4-10-137322-5

本体 ¥670+税



* 9 7 8 4 1 0 1 3 7 3 2 2 5 *



リピート～WHEEL OF FORTUNE～(文春文庫)

乾 くるみ 著

文芸春秋

読売新聞 2018/02/04

2007:11./ 523p

978-4-16-773202-8

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 1 6 7 7 3 2 0 2 8 *



歴史とは何か(岩波新書 青版 D-1)

エドワード・ハレット・カー 著

岩波書店

歴史とは現在と過去との対話である。現在に生きる私たちは、過去を主体的にとらえることなしに未来への展望をたてることはできない。歴史的事実とは、法則とは、個人の役割は、など、歴史における主要な問題について明快に論じる。

1962:3./ 252p

978-4-00-413001-7

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 0 0 4 1 3 0 0 1 7 *

読売新聞 2018/02/04



吉里吉里人<上巻>(新潮文庫)

井上 ひさし 著

新潮社

読売新聞 2018/02/04

1985:9./ 501p

978-4-10-116816-6

本体 ¥790+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 6 8 1 6 6 *



新編 宮沢賢治詩集(新潮文庫)

宮沢 賢治、天沢 退二郎 著

新潮社

読売新聞 2018/02/04

1991:1./ 420p

978-4-10-109207-2

本体 ¥520+税



* 9 7 8 4 1 0 1 0 9 2 0 7 2 *



リプレイ 改版(新潮文庫)

ケン・グリムウッド 著

新潮社

読売新聞 2018/02/04

2010:9./ 474p

978-4-10-232501-8

本体 ¥790+税



* 9 7 8 4 1 0 2 3 2 5 0 1 8 *



危機の二十年～理想と現実～(岩波文庫 34-022-1)

エドワード・ハレット・カー 著

岩波書店

読売新聞 2018/02/04

2011:11.

978-4-00-340221-4

本体 ¥1,320+税



* 9 7 8 4 0 0 3 4 0 2 2 1 4 *



死ぬまでに見たい! 絶景のペンギン～青い氷の国からエメラルド色の南の島まで～

エクスナレッジ

南極海の冰山から、赤道直下のガラパゴス諸島まで、世界の絶景の中でペンギンたちはたくましく生き抜いています。想像を絶する美しい自然環境に心が震え、愛らしいキャラクターに心癒される、ペンギンたちの写真集。

2014:6./ 204p

978-4-7678-1803-0

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 7 6 7 8 1 8 0 3 0 *

読売新聞 2018/02/04



雪の結晶～小さな神秘の世界～

ケン・リプレクト、矢野 真千子 著

河出書房新社

映画「アナ雪」にもいっぱい出てきた雪の結晶！ 構造や種類で分類した 250 点以上の写真で、自然の不思議と奇跡を楽しむ小図鑑。

2014:10./ 111p

978-4-309-25306-0

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 2 5 3 0 6 0 *

読売新聞 2018/02/04



世界の雪景色

海野 弘 著

パイインターナショナル

まるでスノードームやおとぎ話みたい！ 北欧の静かな森、雄大なカナダの原生林、雪の降り積もるパリやロンドン、小さな田舎町のクリスマスなど、世界の幻想的な雪景色の写真集。

2014:11./ 127p

978-4-7562-4580-9

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 5 6 2 4 5 8 0 9 *

読売新聞 2018/02/04



遠野物語(新潮文庫 や-15-1)

柳田 国男 著

新潮社

雪女、天狗、オシラサマ、オクナイサマ、ザシキワラシ…。遠野郷の伝説を流麗な文体で綴った、柳田国男の愛と情熱が行間にあふれる民俗洞察の名著。山本健吉、吉本隆明、三島由紀夫による解説も収録。折り込みの地図付き。

2016:6./ 158p

978-4-10-104706-5

本体 ¥430+税



* 9 7 8 4 1 0 1 0 4 7 0 6 5 *

読売新聞 2018/02/04



苦海浄土 全三部

石牟礼 道子 著

藤原書店

「水俣病」患者とその家族の、そして海と土とともに生きてきた不知火の民衆の、魂の言葉を描ききる。「苦海浄土」「神々の村」「天の魚」全3部作を収録。赤坂真理、池澤夏樹、加藤登紀子らの解説も掲載。

読売新聞 2018/02/04

2016:8./ 1,140p

978-4-86578-083-3

本体 ¥4,200+税



戦間期国際政治と E.H.カー

山中 仁美 著

岩波書店

外交官、国際政治学者、歴史学研究者等として活躍し、「危機の二十年」をはじめとする数々の名著を残した E.H.カー。果たしてカーとは何者なのか。複雑で魅力溢れるその思想体系に挑み、知的巨人カーの実像に迫る。

読売新聞 2018/02/04

2017:11./ 12p,164p,2p

978-4-00-061232-6

本体 ¥3,200+税



古典のすすめ(角川選書 594)

谷 知子 著

KADOKAWA

恋、仕事、死…。日本の古典は人生の教科書だ!「古事記」に描かれたダイナミックな生命の誕生、「曾根崎心中」の切なく熱い恋、「徒然草」の輪転する死生観など、古典作品に描かれた日本人の哲学を縦横無尽に解説する。

読売新聞 2018/02/04

2017:11./ 292p

978-4-04-703620-8

本体 ¥1,700+税



仁義なき幕末維新～われら賊軍の子孫～(文春文庫 は 8-34)

菅原 文太、半藤 一利 著

文藝春秋

「幻の対談」がここに! 明治維新と西南戦争の「賊軍」、人斬り、博徒…。「歴史の片隅に追いやられた敗者に惹かれる」という菅原文太と、昭和史家の半藤一利が歴史のアウトルーについて語り合う、仁義なき幕末史。

読売新聞 2018/02/04

2017:12./ 243p

978-4-16-790987-1

本体 ¥800+税



戦争と戦争のはざままで～E・H・カーと世界大戦～

山中 仁美、佐々木 雄太、吉留 公太 著

ナカニシヤ出版

国際関係、ソ連研究、歴史哲学にかかわる卓越した思想家 E・H・カーの思考枠組を解いた書。方法論においては「両義的な思想」を特徴とすると評価され、「難解な人物」と言われたカーの思想と行動の基本軸を明らかにする。

読売新聞 2018/02/04

2017:11./ 7p,298p

978-4-7795-1182-0

本体 ¥4,600+税



天文の世界史(インターナショナル新書 017)

廣瀬 匠 著

集英社インターナショナル

神話から最先端の宇宙物理まで。西洋だけでなくインドなど東洋、南米までを網羅した画期的な天文学の世界史!天体ごとに章立てし、宇宙に挑んだ人類の奮闘と、科学的知見を描く。面白い逸話も満載。

読売新聞 2018/02/04

2017:12./ 254p

978-4-7976-8017-1

本体 ¥760+税





冬〜ふらの・びえい〜

高橋 真澄 著
青靑社

白く凍てつき冴え冴えと、厳かにして温かい冬は長くて静かだ。北海道の富良野・美瑛を中心とした広大で清涼な自然風景を、独自の感性で撮り続けている著者が捉えた冬の風景。

2017:12./ 95p
978-4-88350-194-6
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/02/04



喜劇としての国際ビジネス～私が出会った<一流>という名の怪優たち～

ダニエル・レヴィン、松田 和也 著
創元社

斬新な金融プログラムを引っ提げ、世界を股にかけて活躍する法律家レヴィンが過去 20 年間に遭遇した、信じられない実話を紹介。権力者の虚像を?ぎ、ビジネス・エリートのペテン師ぶりをあらわにした爆笑ノンフィクション。

2017:12./ 311p
978-4-422-34001-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/02/04



島津家の戦争(ちくま文庫 よ 30-1)

米窪 明美 著
筑摩書房

薩摩藩の私領である都城島津家が残した多数の史料から、明治維新とその後の日本の近代化を主導した薩摩藩の実像、都城島津家の君主と家臣団の知られざる物語に迫る歴史ノンフィクション。

2017:12./ 286p
978-4-480-43482-1
本体 ¥780+税



読売新聞 2018/02/04



結局、トランプのアメリカとは何なのか

高濱 賛 著
海竜社

新聞・TV の大非難を受けながら、トランプ大統領が失脚しないワケとは? 在米ジャーナリストが、トランプ政権の舞台裏を、会話形式でレポートする。『日経 BP オンライン』『JBPress』ほか掲載に加筆し書籍化。

2017:11./ 271p
978-4-7593-1571-4
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/02/04



歌う鳥のキモチ

石塚 徹 著
山と溪谷社

歌いたいキモチのピークはいつ? なわばり内の、どこで歌いたい? オスは二重人格? 鳥たちの面白すぎる私生活と、歌うオスたちのキモチに迫る。聞く人のココロについても考える。

2017:11./ 293p
978-4-635-23008-7
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/02/04



考える障害者(新潮新書 746)

ホーキング青山 著
新潮社

「24 時間テレビ」「バリバラ」「パラリンピック」から「やまゆり園事件」まで。身体障害者芸人として 20 余年活動してきた著者が、障害者に対する世間の偽善と建前を嗤い、矛盾と盲点を衝く。本音度 100%の障害者論。

2017:12./ 189p
978-4-10-610746-7
本体 ¥720+税



読売新聞 2018/02/04



古代史講義～邪馬台国から平安時代まで～(ちくま新書 1300)

佐藤 信 編

筑摩書房

大化の改新は 645 年のクーデタではない、東北の城?は行政官庁だった…。古代史の最新の研究成果と研究動向をわかりやすく解説し、かつての教科書で書かれていたために広まっている誤解などを正す。

2018:1./ 286p

978-4-480-07117-0

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/02/04



京都・イケズの正体(幻冬舎新書 い-29-1)

石川 拓治 著

幻冬舎

イケズ-京都人は排他的で底意地が悪く、何を考えてるかわからないという。なぜ、京都人だけがそう揶揄されるのか。1200 年の伝統「イケズ」の正体を解き明かし、均一化して活力を失った現代日本再生の処方箋を示す。

2017:11./ 236p

978-4-344-98474-5

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/02/04



白百

原 研哉 著

中央公論新社

「白」を反芻するうちに、観念としての「白」ではなく、より具体的な事象としての白について語ってみたくなった。「白」から 10 年。より具体的な事象としての百例の白を挙げて語る。『ヨミウリ・オンライン』掲載を書籍化。

2018:1./ 3p,207p

978-4-12-005036-7

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/02/04



物語のおわり(朝日文庫 み 28-1)

湊 かなえ 著

朝日新聞出版

妊娠 3 か月で癌が発覚した智子、娘のアメリカ行きを反対する木水…。迷いを抱えた人々が向かった先は、北海道。旅の途中で手渡されたのは、未完の小説だった。そして本当の結末とは。

2018:1./ 357p

978-4-02-264873-0

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/02/04



精神障害とともに

南日本新聞取材班 著

ラゲーナ出版

精神疾患患者を地域で支える体制を整えていった欧米諸国と対照的に隔離収容を推し進めた日本。病院・暮らし・就労などの現場を密着取材し、社会的偏見の解消を目指す。『南日本新聞』連載を書籍化。

2017:12./ 298p

978-4-904380-70-3

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/02/04



ジェネリック～それは新薬と同じなのか～

ジェレミー・A.グリーン 著

みすず書房

ジェネリック薬は先発薬とどのように「同じ」なのか。20 世紀後半から 21 世紀初頭のアメリカにおける同等性をめぐる激しい論争、製薬会社の攻防、医療政策など、ジェネリックの歴史を明らかにする。

2017:12./ 6p,378p,89p

978-4-622-08651-2

本体 ¥4,600+税



読売新聞 2018/02/04、日本経済新聞 2018/02/10



おらおらでひとりいぐも

若竹 千佐子 著

河出書房新社

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。『文藝』掲載を単行本化。

2017:11./ 164p

978-4-309-02637-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/02/04、毎日新聞 2018/02/04、産経新聞 2018/02/11



シャーロック・ホームズの冒険(創元推理文庫)

アーサー・コナン・ドイル 著

東京創元社

読売新聞 2018/02/11

2010:2./ 541p

978-4-488-10116-9

本体 ¥900+税



夏の庭~The friends~ 改版(新潮文庫)

湯本 香樹実 著

新潮社

読売新聞 2018/02/11

2001:5./ 218p

978-4-10-131511-9

本体 ¥430+税



シュロック・ホームズの冒険(ハヤカワ・ミステリ文庫)

ロバート・L.フィッシュ 著

早川書房

読売新聞 2018/02/11

1977:3./ 262p

978-4-15-072251-7

本体 ¥760+税



名探偵シャーロック・ホームズ事典

くもん出版

ホームズ物語全 60 編のストーリー紹介をはじめ、ホームズやワトスンが活躍したビクトリア時代や、ホームズ物語がミステリーの歴史に果たした役割などを解説。関連用語集や関連年表、Q&A のほか、人名・事項さくいんも完備。

2012:11./ 253p

978-4-7743-2022-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/02/11



シャーロック・ホームズ対伊藤博文(講談社文庫 ま 73-16)

松岡 圭祐 著

講談社

ライヘンバッハの滝で、犯罪王モリアーティ教授と闘い、生き残ったホームズは、殺人罪に問われる恐れがあるため、死を装い、日本へ向かうことに。枢密院議長・伊藤博文の世話になった彼は、大津事件の意外な事実を暴き出し…。

2017:6./ 481p

978-4-06-293699-6

本体 ¥830+税



読売新聞 2018/02/11



青空に飛ぶ

鴻上 尚史 著

講談社

人生に絶望し、死を望んだ少年が出会ったのは、太平洋戦争で9回特攻し、9回生きて帰ってきた特攻隊員だった…。非情な命令に負けず空を飛び続けた男と、教室で戦った孤独な少年の物語。『小説現代』連載に加筆し単行本化。

2017:8./ 281p

978-4-06-220709-6

本体 ¥1,550+税



読売新聞 2018/02/11



シャーロック・ホームズの栄冠(創元推理文庫 Mト 1-20)

R.A.ノックス、A.バークリー、北原 尚彦 著

東京創元社

A.A.ミルン、E.C.ベントリーなど、錚々たる作家がシャーロック・ホームズの名の下に集う一冊。正統派パステイシュの語られざる事件「疲労した船長の事件」、奇天烈パロディ「第二の収穫」など全 25 編を収録。

2017:11./ 425p

978-4-488-16907-7

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/02/11



金曜日の本

吉田 篤弘 著

中央公論新社

本はいつも同じ声で同じ話を同じように語ってくれた。そんな安心なことが他にあるだろうか。書き下ろしエッセイで辿る、著者自身の少年時代。『こころ』掲載の短編小説「窮鼠、夜を往く」も収録。

2017:11./ 125p

978-4-12-005021-3

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/02/11



国民国家と戦争～挫折の日本近代史～(角川選書 593)

加藤 聖文 著

KADOKAWA

民族型の国民国家を形成し、天皇中心の国体に収斂した日本。国民による戦争への積極的な関わりにも注目し、「国民」をキーワードに、日本近代史を解明し、単純な支配・被支配関係ではない国民国家・日本の実像に迫る。

2017:11./ 219p

978-4-04-703585-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/02/11



日記で読む日本史<17> 琉球王国那覇役人の日記

下郡 剛 著

臨川書店

日記のもつ多面的な魅力を解き明かし、数多の日記が綴ってきた日本文化の深層に迫る。17 は、近世琉球王家に仕えた福地家に伝来する日記史料を読み解き、公と私のはざまに生きた役人たちの姿を明らかにする。

2017:11./ 214p

978-4-653-04357-7

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/02/11



藪医ふらこ堂(講談社文庫 あ 119-7)

朝井 まかて 著

講談社

神田三河町で開業している小児医、天野三哲は「面倒臭え」が口癖の藪医者。ところが、ひょんなことから患者が押し寄せてきて…。直木賞作家が人情と笑いたっぷりに描く、江戸の名物小児医の物語。

2017:11./ 429p

978-4-06-293790-0

本体 ¥780+税



読売新聞 2018/02/11



動物翻訳家～心的心声をキャッチする、飼育員のリアルストーリー～(集英社文庫 か 51-3)

片野 ゆか 著

集英社

多くの人を魅了し続ける動物園の飼育員には、動物たちの心的心声を聞くための絶え間ない努力がある。動物たちと人間をつなぐ、“動物翻訳家”たちの活躍を描いた動物園・お仕事ルポ!(解説/田向健一)

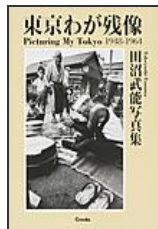
2017:11./ 390p

978-4-08-745666-0

本体 ¥720+税



読売新聞 2018/02/11



東京わが残像～1948-1964～

田沼 武能 著

クレヴィス

占領下、はげしく変貌した「戦後東京」の記録。坊主頭の子どもたち、下町百景、忘れ得ぬ街の貌…。ヒューマンな眼差しで日常の暮らしを祝福する、田沼武能の写真集。マーク・フーステルの解説なども掲載。

2017:10./ 255p

978-4-904845-94-3

本体 ¥2,315+税



読売新聞 2018/02/11



命の価値～規制国家に人間味を～

キャス・サンスティーン、山形 浩生 著

勁草書房

人びとを規制する法はどのような議論を経ているのか。規制に関する法律の実際の立法に関わった元ホワイトハウス高官が、アメリカの政策採用の是非の基準から、費用便益分析の用い方まで、内実を明らかにする。

2017:12./ 3p,270p,62p

978-4-326-55079-1

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/02/11



カーテンコール!

加納 朋子 著

新潮社

経営難で萌木女学園は閉校することに決まっていた。にもかかわらず、卒業できなかった女学生たちを宿泊施設にひとまとめにして、特別補講を行うことになったが…。『惑-まどう-』『小説新潮』掲載を単行本化。

2017:12./ 280p

978-4-10-351391-9

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/02/11



俺たちの「戦力外通告」

高森 勇旗 著

ウェッジ

井川慶、中村紀洋、川上憲伸、石井琢朗…。戦力外通告を受けた元プロ野球選手 25 人に、自身も同じ経験を持つ著者がインタビュー。自分自身を見つめ、再スタートを切る姿を伝える。『Wedge』連載を書籍化。

2017:12./ 208p

978-4-86310-194-4

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/02/11



裁判の原点～社会を動かす法学入門～(河出ブックス 109)

大屋 雄裕 著

河出書房新社

それぞれが異なる意見を持つ社会で、一定の結論をつける手段である裁判。その権力を私たちはどう扱えばいいのか。指標となってきた判例がもたらした変化、その価値を、法学者である著者が解説する。

2018:1./ 239p

978-4-309-62509-6

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/02/11



孤独とセックス(扶桑社新書 259)

坂爪 真吾 著

扶桑社

多くの人が性愛の世界に参入するスタートライン＝「18 歳」に視点を合わせ、男子が悩んでおり、今後の性生活や人生に重要だと思われる問いと、それらに対する回答を提示。他者や社会、自分自身と「つながる」力が身につく書。

2017:12./ 251p

978-4-594-07744-0

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/02/11



葬送の仕事師たち(新潮文庫 い-121-2)

井上 理津子 著

新潮社

なぜこの職業を選んだのか。どんな思いを抱いて働いているのか。忘れられない経験とは。葬儀社社員、納棺師、エンバーマー、火葬場職員など、「死」と向き合うプロの言葉に耳を傾け、葬送の現場を見て歩いたルポルタージュ。

2018:2./ 321p

978-4-10-126393-9

本体 ¥550+税



読売新聞 2018/02/11



オーパーツ死を招く至宝

蒼井 碧 著

宝島社

当時の技術や知識では制作不可能なはずの古代の工芸品、オーパーツ。黄金シャトルやストーンヘンジなど、謎の至宝をめぐる殺人事件と前代未聞のトリックに、天才オーパーツ鑑定士・古城と、貧乏学生・鳳が挑む。

2018:2./ 309p

978-4-8002-7936-1

本体 ¥1,380+税



読売新聞 2018/02/11



口笛の上手な白雪姫

小川 洋子 著

幻冬舎

劇場で、病院で、公衆浴場で。<声>によってよみがえる、大切な死者とかけがえない記憶。全 8 編を収めた、切なく心揺さぶる短編集。『GINGER L.』『小説幻冬』掲載に加筆修正して書籍化。

2018:1./ 229p

978-4-344-03245-3

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/02/11



西東三鬼全句集(角川ソフィア文庫 D116-1)

西東 三鬼 著

KADOKAWA

昭和俳壇に彗星のごとく登場し、十七文字の魔術師と称された新興俳句の旗手、三鬼。反戦やエロス、異国的モチーフや中年感情を大胆にモダンに詠み、無二の魅力を放つ西東三鬼の全句を収録。自句自解、初句・季語索引付き。

2017:12./ 473p

978-4-04-400326-5

本体 ¥1,240+税



読売新聞 2018/02/11、産経新聞 2018/02/25



オンブレ(新潮文庫 レ-11-1)

エルモア・レナード、村上 春樹 著

新潮社

「男(オンブレ)」の異名を持つ西部の男ジョン・ラッセル。幼少期をアパッチに育てられた伝説の男と悪党たちが、灼熱の荒野で息詰まる死闘を繰り広げる! 表題作ほか、レナードの傑作全 2 作品を、村上春樹が痛快無比に翻訳。

2018:2./ 309p

978-4-10-220141-1

本体 ¥550+税



読売新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/24



自民党～政権党の38年～(中公文庫)

北岡 伸一 著

中央公論新社

読売新聞 2018/02/18

2008:7./ 394p

978-4-12-205036-5

本体 ¥933+税





暝鳥記～伊藤一彦歌集～(第1歌集文庫)

伊藤 一彦 著

現代短歌社

読売新聞 2018/02/18

2012:11./ 104p

978-4-906846-30-6

本体 ¥667+税



桜の下で待っている

彩瀬 まる 著

実業之日本社

婚約者の実家を訪ねて郡山へ。亡くなった母の七回忌に出席するため仙台へ…。桜前線が日本列島を北上する4月、新幹線で北へ向かう男女5人の複雑にからまり揺れる想いとふるさとでの出会いを、あざやかな筆致で描く。

2015:3./ 208p

978-4-408-53664-4

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/02/18



ニューヨークの魔法のかかり方(文春文庫 お41-8)

岡田 光世 著

文藝春秋

人と出会い、心が触れ合う。それが、私のなかで、いつまでも忘れられない思い出になる。「ニューヨークの魔法」シリーズの著者が、「魔法の瞬間」を写真とともに紹介。「魔法にかかる方法」も教える。黒木瞳との対談も収録。

2017:12./ 235p

978-4-16-790989-5

本体 ¥830+税



読売新聞 2018/02/18



火星からの侵略～パニックの心理学的研究～

ハドリー・キャントリル 著

金剛出版

1938年、名優の語りによるラジオドラマが全米100万人以上の人々を恐怖とパニックに陥れた。何が集団行動の主な心理的理由と考えられるのか。放送直後の調査をまとめた社会心理学の古典に解説を加える。

2017:11./ 243p

978-4-7724-1585-9

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/02/18



金時鐘コレクション<2> 幻の詩集、復元にむけて

金 時鐘 著

藤原書店

植民地下朝鮮から「在日」を生きぬく詩人であり思想家、金時鐘の思索の全てを集成。2は、第2詩集「日本風土記」、出版かなわぬまま途絶し散逸した「日本風土記II」を復元し、著者インタビューとともに収録する。

2018:1./ 394p

978-4-86578-148-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/02/18



捨ててこそ空也(新潮文庫 あ-91-1)

梓澤 要 著

新潮社

天皇の血筋を捨て、人々の営みに一身を捧げた空也。西国から坂東へ、諸国を巡り、仏の救いと生きる意味を探し求め、再び京へ戻った空也が見た風景とは？空也の波乱と熱涙の生涯と仏教の核心を描く歴史小説。

2017:12./ 541p

978-4-10-121181-7

本体 ¥750+税



読売新聞 2018/02/18



ゲーム理論はアート～社会のしくみを思いつづための繊細な哲学～

松島 斉 著

日本評論社

ゲーム理論家が示す、生きづらい社会で生きる人のための道標。複雑な社会や日常の暮らしがどのようなしくみで成り立っているのかを、ゲーム理論を使って解き明かす。ゲーム理論の面白さがわかる入門書。

2018:1./ 8p,280p,14p

978-4-535-55892-2

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/02/18



ブータンの瘋狂聖ドクパ・クンレー伝(岩波文庫 青 344-1)

ゲンデュン・リンチェン 編

岩波書店

「瘋狂聖」の愛称を冠され、ブータン人に語り継がれ、賛仰されてきた遊行僧、ドクパ・クンレー。型破りの遍歴、奇行、聖と俗にわたる逸話をまとめる。ブータン仏教を知るための古典作品。

2017:12./ 238p

978-4-00-333441-6

本体 ¥720+税



読売新聞 2018/02/18



安楽死を遂げるまで

宮下 洋一 著

小学館

安らかに死ぬ。安楽死は本当に字義通りの逝き方なのか。スイス、オランダ、ベルギー、アメリカ、スペイン、日本。各国の現場を訪ね、安楽死の瞬間にまで立ち会ったジャーナリストが、なぜ彼らは自ら死を選んだのかに迫る。

2017:12./ 348p

978-4-09-389775-4

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/02/18



写真家だけが知っている動物たちの物語(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ロザムンド・キッドマン・コックス、片山 美佳子 著

日経ナショナルジオグラフィック社

アザラシが人にペンギンをプレゼント。シマウマの子をかわいがるライオン…。ワイルドライフ・フォトグラファー・オブ・ザ・イヤーを受賞した動物写真のなかから、記憶に残る魅力的な写真を厳選して掲載。

2017:11./ 127p

978-4-86313-397-6

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/02/18



半分世界(創元日本 SF 叢書 07)

石川 宗生 著

東京創元社

ある朝突然、縦に半分になった家で、平然と暮らし続ける一家とその観察に没頭する人々を描く表題作をはじめ、会社から帰宅途中の吉田大輔氏が一瞬にして19329人となる「吉田同名」など、全4編を収録。

2018:1./ 307p

978-4-488-01825-2

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/02/18



北前船寄港地ガイド

加藤 貞仁 著

無明舎出版

動く海の総合商社といわれた北前船。その寄港地を全国に訪ね、史跡や文書、記念館などを平易な文と写真で紹介する。一般公開されている北前船関連施設も掲載。

2017:12./ 144p

978-4-89544-642-6

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/02/18



珍品堂主人 増補新版(中公文庫 い38-3)

井伏 鱒二 著
中央公論新社

風が吹かないのに風に吹かれているような後姿には、料亭<途上園>に夢を託した骨董屋・珍品堂主人の思い屈した風情が漂う。善意と奸計が織りなす人間模様を鮮やかに描く。自作解説エッセイ、紀行「能登半島」等も収録。

2018:1./ 250p
978-4-12-206524-6
本体 ¥820+税



読売新聞 2018/02/18



ポンコツ武将列伝

長谷川 ヨシテル 著
柏書房

連戦連敗、敵前逃亡、からみ酒、セクハラ、パワハラ…。小田氏治や兵主源六など教科書に登場しないマイナー武将たちを中心に、英雄にはなれなかったけれど、人間くさくて愛おしい、トホホな“サムライ”たちの肖像を描く。

2017:12./ 253p
978-4-7601-4934-6
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/02/18



キンノヒマワリ ピアニスト中村絃子の記憶

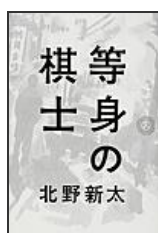
高坂 はる香 著
集英社

日本クラシック音楽界の大輪の花・中村絃子。日本が敗戦から立ち上がる中、彼女はピアノと度胸、政治力で単身世界に打って出た! 永遠のピアニストの生きざまを、専属マネージャー、調律師、音楽家たちの証言をもとに描く。

2018:1./ 319p
978-4-08-781647-1
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/02/18



等身の棋士

北野 新太 著
ミシマ社

棋士という二文字は「将棋を指す侍」を示している。藤井聡太、加藤一二三、羽生善治。極限の状況で「最善」だけを探る、高潔な棋士たちの群像を描く将棋ノンフィクション。『将棋世界』他掲載に書き下ろしを加え再構成。

2017:12./ 209p
978-4-909394-01-9
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/02/18



遠音よし遠見よし〜歌集〜(gift10 叢書 第8篇)

伊藤 一彦 著
現代短歌社

雷のうちさわげるはよきかなと声出し言へばさらにさわぐも 見通しのきかない時代に、牧水の心をたずさえて各地を旅する著者による第14歌集。『現代短歌』で発表した160首を含む、518首を収録。

2017:12./ 209p
978-4-86534-223-9
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/02/18



俗神 増補改訂

土田 ヒロミ、ホーニング睦美 著
冬青社

1968年から75年に、伊勢・富士山・吉野・恐山・英彦山・東京・横浜などのハレの場を中心に撮影、現代が共時的に共有している生活の深層を表現した写真集。オットー・ブックス社76年刊の増補改訂。

2004:7.
978-4-88773-017-5
本体 ¥7,500+税



読売新聞 2018/02/25



タタド(新潮文庫)

小池 昌代 著
新潮社
読売新聞 2018/02/25

2010:1./ 185p
978-4-10-130781-7
本体 ¥362+税

* 9 7 8 4 1 0 1 3 0 7 8 1 7 *



幼年 水の町

小池 昌代 著
白水社
たったひとり、世界を見つめていた子どものころ。わたしは孤独だったが少しもさびしくはなかった。水の町・深川に育った著者が幼年のころを綴った、白水社ウェブサイト連載エッセイと、書き下ろし掌編小説を収録する。

2017:12./ 173p
978-4-560-09588-1
本体 ¥2,200+税

* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 5 8 8 1 *

読売新聞 2018/02/25



野笑〜詩集〜

小池 昌代 著
溍標
宿り木を見たのは ある詩人の庭だった 木の中に木が宿る そんなことがあるのです 涼しい顔で その人は言った(「宿り木」より)『ビーぐる』『銀座百点』に掲載した詩と絵を中心にまとめる。

2017:11./ 92p
978-4-86078-376-1
本体 ¥1,600+税

* 9 7 8 4 8 6 0 7 8 3 7 6 1 *

読売新聞 2018/02/25



なぜ世界は存在しないのか(講談社選書メチエ 666)

マルクス・ガブリエル 著
講談社
1980 年生まれのドイツ哲学界の新星が、ポストモダン以後の時代を表す「新しい実在論」をキーワードに示す、哲学の原則。「なぜ世界は存在しないのか」という大胆な問いを投げかけ、豊富な具体例とともに解きほぐす。

2018:1./ 335p
978-4-06-258670-2
本体 ¥1,850+税

* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 7 0 2 *

読売新聞 2018/02/25



世界イディッシュ語短篇選(岩波文庫 37-771-1)

西 成彦 著
岩波書店
東欧系ユダヤ人の日常言語「イディッシュ」を創作言語として選び取った作家たちが、生まれ故郷を離れて世界各地で書き残した作品を集成。「みつつの贈物」「兄と弟」など、全 13 編の短篇を収録する。

2018:1./ 345p
978-4-00-377004-7
本体 ¥920+税

* 9 7 8 4 0 0 3 7 7 0 0 4 7 *

読売新聞 2018/02/25



わたしの「もったいない語」辞典(中公文庫 ち 8-5)

中央公論新社 編
逢坂 剛 著
中央公論新社
「銀幕」「ペーペー」「G ジャン」「達者で」…。今はあまり使われなくなつて“もったいない”と思う言葉を、作家・文学者・俳人など言葉のプロ 150 人が、自身の思い出とともに綴る。『読売新聞』連載を文庫化。

2018:1./ 317p
978-4-12-206522-2
本体 ¥700+税

* 9 7 8 4 1 2 2 0 6 5 2 2 2 *

読売新聞 2018/02/25



妖盗 S79 号(河出文庫 あ 28-2)

泡坂 妻夫 著

河出書房新社

神出鬼没の怪盗 S79 号は、奇想天外な手口で次々とお宝を盗み出す。そんな中、世間では連続猟奇殺人事件も発生中で大混乱。果たして、警視庁の S79 号専従捜査班は怪盗の正体とその真の目的を暴くことができるのか？

2018:1./ 537p

978-4-309-41585-7

本体 ¥950+税



読売新聞 2018/02/25



畜生・餓鬼・地獄の中世仏教史～因果応報と悪道～(歴史文化ライブラリー 460)

生駒 哲郎 著

吉川弘文館

中世人は、すべての人間が宿業を背負っていると考えていた。仏教の世界観である六道は三善道と三悪道とに別れ、殺生にも善悪の違いがあった。地獄に堕ちる殺生、堕ちない殺生とは？ 因果応報の歴史から中世人の思考を紐解く。

2018:2./ 6p,227p

978-4-642-05860-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/02/25



笑劇の人生(新潮新書 749)

芦屋 小雁 著

新潮社

疾風怒涛の芸能生活、喜劇座結成、フィルム収集癖、3 度の結婚…。人を笑わせ続けて 70 年、喜劇の“怪人”芦屋小雁がその破天荒な人生を綴る。戦後上方芸能史のウラ側が見えてくる異色自伝。

2018:1./ 191p

978-4-10-610749-8

本体 ¥720+税



読売新聞 2018/02/25



オッペケペー節と明治(文春新書 1155)

永嶺 重敏 著

文藝春秋

明治 20 年代に流行した「オッペケペー節」。日本のラップの元祖ともいべきこの歌が民衆の心をとらえた過程を追いながら、政治、インフラ、文化と、多方面で近代化が始まった日本を探検する。

2018:1./ 223p

978-4-16-661155-3

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/02/25



雪子さんの足音

木村 紅美 著

講談社

ぼくにとっては、孫ごっこのバイトのつもりだった。学生時代を過ごしたアパート「月光荘」の大家・雪子さんの孤独死を知った薫に、20 年前の記憶が蘇り…。人間関係のひだを繊細に描く傑作。『群像』掲載を単行本化。

2018:2./ 123p

978-4-06-220983-0

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/02/25



極夜行

角幡 唯介 著

文藝春秋

暗闇のなか、氷床を歩き続け 3 カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極を、一頭の犬とともに命懸けで体感した探検家がつづる冒険ノンフィクション。『文春オンライン』連載に加筆修正。

2018:2./ 333p

978-4-16-390798-7

本体 ¥1,750+税



読売新聞 2018/02/25



玄関の覗き穴から差してくる光のように生まれたはずだ

木下 龍也、岡野 大嗣 著

ナナロク社

雨、蜘蛛は乾いたままの橋の裏側をゆっくり渡っていった 最注目の新世代歌人ふたりが、男子高校生ふたりの 7 日間を短歌 217 首で描く。舞城王太郎によるスピノフ小説 2 篇を掲載した特別付録冊子付き。

読売新聞 2018/02/25

2018:1./ 134p

978-4-904292-77-8

本体 ¥1,400+税



海洋の環〜人類の共同財産「海洋」のガバナンス〜

エリザベス・マン・ボルゲーゼ、笹川平和財団海洋政策研究所 著

成山堂書店

海洋を人類の共同財産として治めるにはどうしたらよいか。「海洋の母」と呼ばれる著者が、高い理念と豊富な知見を活かして、自然科学的、文化的、経済的、法的、制度的な視点から具体的に考察し、そのあるべき姿を提示する。

読売新聞 2018/02/25

2018:1./ 26p,15p,245p

978-4-425-53181-3

本体 ¥2,600+税



広辞苑を3倍楽しむ<その2>(岩波科学ライブラリー 270)

岩波書店編集部 編

岩波書店

かんみん、てづるもづる、わらすぼ…。『広辞苑』の多種多様な項目から「話のタネ」を選んだ、各界で活躍する著者たちの科学にまつわるエッセイ 50 本を、美しい写真とともに紹介。『科学』連載を再構成。

読売新聞 2018/02/25

2018:2./ 7p,118p

978-4-00-029670-0

本体 ¥1,500+税



絶景本棚

本の雑誌編集部 編

本の雑誌社

スタイリッシュ、すっきり整然、床積み、魔窟に野放し系…。趣味も専門もバラバラな 34 人の本棚模様を、オールカラーの写真で紹介しします。『本の雑誌』連載を再構成し、書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2018/02/25

2018:2./ 221p

978-4-86011-411-4

本体 ¥2,300+税



人民に奉仕する

閻 連科、谷川 毅 著

文芸春秋

毛沢東の有名なスローガン「人民に奉仕する」の木札が動く度、炊事班長・呉大旺は、軍師団長の妻である若く美しい劉蓮の待つ寝室へと向かった。彼女の大胆な誘惑に呉大旺も一線を越えて…。中国で発禁処分になった問題小説。

日本経済新聞 2018/02/03

2006:8./ 206p

978-4-16-325300-8

本体 ¥1,600+税



丁庄の夢〜中国エイズ村奇談〜

閻 連科、谷川 毅 著

河出書房新社

1990 年代の中国河南省、政府の売血政策で 100 万人とも言われる HIV 感染者を出した貧農の「エイズ村」を舞台に繰り広げられる、死と狂気と絶望と哄笑の物語。現代の鲁迅と評される反体制作家が、現代中国の暗部を抉る!

日本経済新聞 2018/02/03

2007:1./ 358p

978-4-309-20473-4

本体 ¥1,600+税



**カナダ=エスキモー**

本多 勝一 著
朝日新聞社
日本経済新聞 2018/02/03

1981:9./ 283p
978-4-02-260802-4
本体 ¥480+税

* 9 7 8 4 0 2 2 6 0 8 0 2 4 *

**ニューギニア高地人(朝日文庫)**

本多勝一 著
朝日新聞出版
日本経済新聞 2018/02/03

1981:10./ 278p
978-4-02-260804-8
本体 ¥540+税

* 9 7 8 4 0 2 2 6 0 8 0 4 8 *

**雪国 改版(新潮文庫)**

川端 康成 著
新潮社
親譲りの財産で、きままたな生活を送る島村は、雪深い温泉町で芸者駒子と出会う。許婚者の療養費を作るため芸者になったという、駒子の一途な生き方に惹かれながらも、島村はゆきずりの愛以上のつながりを持とうとしない。

2006:5./ 208p
978-4-10-100101-2
本体 ¥360+税

* 9 7 8 4 1 0 1 0 0 1 0 1 2 *

日本経済新聞 2018/02/03

**山を考える 新版(朝日文庫)**

本多勝一 著
朝日新聞出版
日本経済新聞 2018/02/03

1993:12./ 304p
978-4-02-260790-4
本体 ¥620+税

* 9 7 8 4 0 2 2 6 0 7 9 0 4 *

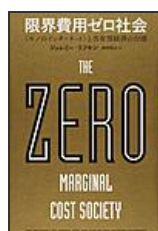
**侏儒の言葉・文芸的な、余りに文芸的な(ワイド版岩波文庫 360)**

芥川 竜之介 著
岩波書店
芥川竜之介最晩年の箴言集と文芸評論集。死の前の 4 年間アフォリズムの刃を研ぎ澄まし書きついだ「侏儒の言葉」と、谷崎潤一郎への反論などを掲げ自身の文学・芸術論を展開した「文芸的な、余りに文芸的な」を収録する。

2013:3./ 254p,7p
978-4-00-007360-8
本体 ¥1,100+税

* 9 7 8 4 0 0 0 0 7 3 6 0 8 *

日本経済新聞 2018/02/03

**限界費用ゼロ社会～<モノのインターネット>と共有型経済の台頭～**

ジェレミー・リフキン 著
NHK出版
テクノロジーの進化が経済と社会を根底から変える!世界的な文明評論家が、3Dプリンターや大規模オンライン講座 MOOC などの事例をもとに、デジタル革命の真のインパクトを読み解く。日本版向けの「特別章」付き。

2015:10./ 531p
978-4-14-081687-5
本体 ¥2,400+税

* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 6 8 7 5 *

日本経済新聞 2018/02/03



<インターネット>の次に来るもの～未来を決める12の法則～

ケヴィン・ケリー、服部 桂 著

NHK出版

人工知能、仮想現実、拡張現実、ブロックチェーン、IoT…。今後 30 年の間にわれわれの未来が不可避免的に向かう先を、「ビカミング」「アクセシング」「トラッキング」など、12 のキーワードから読み解く。

日本経済新聞 2018/02/03

2016:7./ 401p,13p

978-4-14-081704-9

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 7 0 4 9 *



代表的日本人

内村 鑑三、藤田 裕行 著

アイバス出版

日本と日本人の姿を、世界に発信しようとした内村鑑三。彼が、西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人という 5 人の偉人たちの生きざまを、母国語ではない英語で綴った「代表的日本人」を、気鋭の訳者が新たに訳す。

日本経済新聞 2018/02/03

2016:9./ 221p

978-4-86113-666-5

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 8 6 1 1 3 6 6 6 5 *



テヘランからきた男 西田厚聰と東芝壊滅

児玉 博 著

小学館

イランで現地採用され、社長に成り上がるや米原子力事業を 6400 億円で買った男は、いつ、どこで、何を間違え、東芝を奈落の底に突き落としたのか-。“戦犯”と呼ばれた経営者の全告白を名門企業の盛衰と重ね合わせて綴る。

日本経済新聞 2018/02/03

2017:11./ 300p

978-4-09-389774-7

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 9 3 8 9 7 7 4 7 *



対デジタル・ディスラプター戦略～既存企業の戦い方～

マイケル・ウェイド、ジェフ・ルークス、ジェイムズ・マコーレー、アンディ・ノロニヤ、根来 龍之、武藤 陽生、デジタルビジネス・イノベーションセンター 著

日本経済新聞出版社

既存企業は、なぜ、どのようにして苦戦を強いられるのか? あらゆる業界をのみ込む「破壊の力学」と、それを支える「デジタル・ビジネスモデル」を解明。勝ち残りをかけた既存企業の戦い方を明らかにする。

日本経済新聞 2018/02/03

2017:10./ 408p

978-4-532-32165-9

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 5 3 2 3 2 1 6 5 9 *



アメリカ暴力の世紀～第二次大戦以降の戦争とテロ～

ジョン・W.ダワー、田中 利幸 著

岩波書店

第二次大戦および冷戦の覇者アメリカは、どのような経緯で現在の世界の、そして自国の混沌を生み出してしまったのか。軍事をめぐる歴史とテロなどの不安定の連鎖拡大の現状について、簡潔にかつ深く洞察する。

日本経済新聞 2018/02/03

2017:11./ 27p,186p

978-4-00-022099-6

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 0 0 0 2 2 0 9 9 6 *



いのち

瀬戸内 寂聴 著

講談社

ガンと心臓の病に襲われ、痛切な老いに直面した私。脳裏に蘇るのは、70 年近い作家人生で出会った男たちと、筆を競った友の死に様だった-。小説への愛と修羅を生きた女の鮮烈な<いのち>を描く。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/02/03

2017:12./ 253p

978-4-06-220878-9

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 6 2 2 0 8 7 8 9 *



日本の介護～経済分析に基づく実態把握と政策評価～

中村 二郎、菅原 慎矢 著

有斐閣

経済学の実証的視点から行った日本の介護に関する研究の成果。さまざまなデータを駆使して現状の介護問題の本質を把握し、それに基づいて現状の介護制度の問題点を検証・整理するとともに、今後の望ましい介護制度を提示する。

2017:12./ 8p,244p
978-4-641-16514-4
本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2018/02/03



巡り逢う才能～音楽家たちの1853年～

ヒュー・マクドナルド、森内 薫 著

春秋社

ブラームス、リスト、ワーグナー、シューマン…。19世紀音楽界の主役らが、続々と登場する重要な出来事が多数起きた1853年春から翌年にかけての約10か月間を、彼らの人生の交わりを通じて観察する。

2017:12./
11p,332p,29p
978-4-393-93208-7
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/02/03



猫はこうして地球を征服した～人の脳からインターネット、生態系まで～

アビゲイル・タッカー、西田 美緒子 著

合同出版

猫は多くの人びとを魅了し、世界中の都市・自然の生態系で増え続け、インターネットでも爆発的人気を獲得している。人を手なずけ、最強の王者となった猫の秘密を解き明かす。

2017:12./ 269p
978-4-7726-9558-9
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/02/03



ディープ・シンキング人工知能の思考を読む

ガルリ・カスパロフ、染田屋 茂 著

日経BP社

IBMのコンピューター「ディープ・ブルー」戦から20年。伝説のチェス・プレイヤー、ガルリ・カスパロフが、コンピューターとの対戦をさまざまな側面から検討し、「機械との競争」から学んだ“創造”の本質を明らかにする。

2017:11./ 396p,13p
978-4-8222-5541-1
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/02/03



パラダイス文書～連鎖する内部告発、パナマ文書を経て「調査報道」がいま暴く～

奥山 俊宏 著

朝日新聞出版

ICIJのメンバーとして、また朝日新聞の記者として、タックスヘイブンの取材に携わってきた著者が、「テラ内部告発」「メガ調査報道」の潮流を、源までさかのぼって考察。パラダイス文書に至るまでの道のりをたどる。

2017:11./ 351p
978-4-02-251506-3
本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2018/02/03



佐藤栄作～最長不倒政権への道～(朝日選書 966)

服部 龍二 著

朝日新聞出版

7年8カ月に及ぶ最長不倒政権を担った佐藤栄作は、戦後最大級の日米交渉の裏で、なぜ密使、密約を用いたのか？佐藤の全生涯から、戦後保守政治の本質、日米関係の基底を描く。

2017:12./ 5p,439p,14p
978-4-02-263066-7
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/02/03



幸福な水夫

木村 友祐 著

未来社

青森県八戸市出身の著者が、郷里の家族とちいさな命を描く、温かな、ときに激しい南部弁の響きに満ちた作品集。表題作と「突風」の小説 2 篇のほか、書き下ろしエッセイ「黒丸の眠り、祖父の手紙」を収録する。

日本経済新聞 2018/02/03

2017:12./ 189p

978-4-624-60121-8

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 6 2 4 6 0 1 2 1 8 *



文字に美はありや。

伊集院 静 著

文藝春秋

美しい文字とは何か。鑑真、空海、織田信長から夏目漱石、太宰治、ビートたけしまで、文人や作家の名筆、名跡をたどりながら考える。写真も満載。『文藝春秋』連載に加筆し単行本化。

日本経済新聞 2018/02/03

2018:1./ 253p

978-4-16-390777-2

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 7 7 7 2 *



ゴールをぶっ壊せ〜夢の向こう側までたどり着く技術〜(中公新書ラクレ 608)

影山 ヒロノブ 著

中央公論新社

16 歳でデビューしたバンドは 4 年で解散。年収 7 万円という“地獄”を経て頂に立つ、アニソン界のパイオニア・影山ヒロノブ。彼はなぜ歌い続けられたのか? なぜ諦めなかったのか? 自身の半生を振り返る。

日本経済新聞 2018/02/03

2018:1./ 189p

978-4-12-150608-5

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 6 0 8 5 *



偉人たちのあんまりな死に方〜ツタンカーメンからアインシュタインまで〜(河出文庫 フ16-1)

ジョージア・ブラッグ、梶山 あゆみ 著

河出書房新社

ベートーヴェンは、体液を抜かれ、蒸し風呂に入れられて死んでいった!? ツタンカーメンからアインシュタインまで、医学が未発達な時代に、世界の偉人たちがどんな最期を遂げたのかを紹介する。

日本経済新聞 2018/02/03

2018:1./ 220p

978-4-309-46460-2

本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 6 0 2 *



日本の土偶(講談社学術文庫 2474)

江坂 輝彌 著

講談社

土偶はどこから来て、どのように変化したのか。多様な土偶を年代・地域別に体系化し、形態・特徴・出土状況等を豊富な図版で解説。さらに縄文時代の文化と信仰を探り、海でつながった周辺地域の調査から土偶の起源を追究する。

日本経済新聞 2018/02/03

2018:1./ 293p

978-4-06-292463-4

本体 ¥1,050+税



* 9 7 8 4 0 6 2 9 2 4 6 3 4 *



内村鑑三〜悲しみの使徒〜(岩波新書 新赤版 1697)

若松 英輔 著

岩波書店

自らの弱さと不完全さを知るからこそ、どこまでも敬虔であらうとしたキリスト者、内村鑑三。「余はいかにしてキリスト信徒となりしか」等の著作に今も響きつづけるその霊性を、深みにおいてとらえなおす。

日本経済新聞 2018/02/03、朝日新聞 2018/02/11

2018:1./ 2p,257p,8p

978-4-00-431697-8

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 6 9 7 8 *



愉楽

閻 連科、谷川 毅 著

河出書房新社

障害者ばかりの僻村で、レーニンの遺体を購入し、記念館を建設しようという計画が始動する。資金調達のため、飛ぶように走る片脚の青年、下半身不随の刺?の名手など、絶技団が結成され…。現代中国の矛盾を撃つ、魔術的物語。

日本経済新聞 2018/02/03、朝日新聞 2018/02/18

2014:9./ 458p

978-4-309-20660-8

本体 ¥3,600+税



年月日

閻 連科、谷川 毅 著

白水社

大日照りの村に残った老人と盲目の犬。一本のトウモロコシの苗を守り、ネズミやオオカミと闘う。命をつなぐための、最後の手段とは?

日本経済新聞 2018/02/03、朝日新聞 2018/02/18

2016:11./ 153p

978-4-560-09531-7

本体 ¥1,700+税



炸裂志

閻 連科、泉 京鹿 著

河出書房新社

作家・閻連科は、炸裂市の歴史、売春婦と盗賊の年代記を綴り始める。発禁にも関わらず問題作を世に問うノーベル賞候補作家の大作。

日本経済新聞 2018/02/03、朝日新聞 2018/02/18

2016:11./ 471p

978-4-309-20721-6

本体 ¥3,600+税



不死身の特攻兵～軍神はなぜ上官に反抗したか～(講談社現代新書 2451)

鴻上 尚史 著

講談社

上官の命令に背き、体当たりではなく爆弾を落として戦果を挙げようと心に決めた特攻兵、佐々木友次。彼は何と戦い、何に苦しみ、何を選んだのか。生き延びて何を思ったのか。9回の生還を果たした男が、命の尊厳を語る。

日本経済新聞 2018/02/03、読売新聞 2018/02/11

2017:11./ 292p

978-4-06-288451-8

本体 ¥880+税



盗まれる大学～中国スパイと機密漏洩～

ダニエル・ゴールドデン、花田 知恵 著

原書房

ピューリッツァー賞ジャーナリストが綿密な取材によって描きだした「大学と情報機関」の密接な関係、スパイ養成とリクルートの現実。スパイ目的で入学する外国人留学生や資金援助による研究機関への浸透など、驚愕の事実が判明する。

日本経済新聞 2018/02/03、読売新聞 2018/02/11

2017:11./ 446p

978-4-562-05438-1

本体 ¥2,800+税



硬きこと水のごとし

閻 連科、谷川 毅 著

河出書房新社

文化大革命の嵐が吹き荒れるなか、血気盛んな人民解放軍の若者・高愛軍は、故郷の貧村に復員し、美しき人妻・夏紅梅とともに革命を志す。セックスと革命、血と涙と笑いが交錯するドタバタ狂想讃歌。

日本経済新聞 2018/02/03、毎日新聞 2018/02/04、朝日新聞 2018/02/18

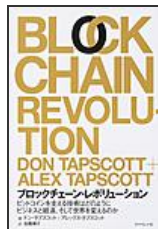
2017:12./ 355p

978-4-309-20736-0

本体 ¥3,000+税



No Image	十六の墓標～炎と死の青春～<上> 永田 洋子著 著 彩流社 日本経済新聞 2018/02/10	1982:1./ 296p 978-4-88202-034-9 本体 ¥1,500+税  * 9 7 8 4 8 8 2 0 2 0 3 4 9 *
	神聖喜劇<第1巻> 大西 巨人、のぞゑ のぶひさ、岩田 和博 著 幻冬舎 日本文学の金字塔である大西巨人の小説「神聖喜劇」の完全漫画化。対米英開戦から間のない 1942 年初め、長崎県対馬要塞の重砲兵聯隊に新兵として配属された 24 歳の東堂太郎は、日本の軍隊の理不尽さに直面する…。 日本経済新聞 2018/02/10	2006:5./ 272p 978-4-344-01163-2 本体 ¥1,400+税  * 9 7 8 4 3 4 4 0 1 1 6 3 2 *
No Image	中核 VS 革マル<上>(講談社文庫) 立花 隆 著 講談社 日本経済新聞 2018/02/10	1983:1./ 283p 978-4-06-134183-8 本体 ¥530+税  * 9 7 8 4 0 6 1 3 4 1 8 3 8 *
No Image	日本共産党の研究<1>(講談社文庫) 立花 隆 著 講談社 日本経済新聞 2018/02/10	1983:5./ 448p 978-4-06-183041-7 本体 ¥730+税  * 9 7 8 4 0 6 1 8 3 0 4 1 7 *
No Image	日本共産党の研究<2>(講談社文庫) 立花 隆 著 講談社 日本経済新聞 2018/02/10	1983:6./ 381p 978-4-06-183042-4 本体 ¥640+税  * 9 7 8 4 0 6 1 8 3 0 4 2 4 *
No Image	日本共産党の研究<3>(講談社文庫) 立花 隆 著 講談社 日本経済新聞 2018/02/10	1983:7./ 362p 978-4-06-183043-1 本体 ¥640+税  * 9 7 8 4 0 6 1 8 3 0 4 3 1 *
No Image	十六の墓標～炎と死の青春～<下> 永田洋子 著 彩流社 日本経済新聞 2018/02/10	1983:2./ 392p 978-4-88202-037-0 本体 ¥1,800+税  * 9 7 8 4 8 8 2 0 2 0 3 7 0 *



ブロックチェーン・レボリューション～ビットコインを支える技術はどのようにビジネスと経済、そして世界を変えるのか～

ドン・タプスコット、アレックス・タプスコット、高橋 璃子 著

ダイヤモンド社

個人のプライバシーや安全が守られ、データが自分自身のものになる世界。大企業が技術を独占することなく、誰もがテクノロジーの発展に参加できる世界。ブロックチェーンが可能にする新たな動きを様々な分野から紹介する。

2016:12./ 407p
978-4-478-06996-7
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/02/10



ブロックチェーン革命～分散自律型社会の出現～

野口 悠紀雄 著

日本経済新聞出版社

仮想通貨を支える情報技術・ブロックチェーンが、応用対象を拡大し、ビジネスや経済、社会の姿を劇的に変えようとしている。ブロックチェーンの全容を、内外の最新事例をもとに平易に説き明かし、その可能性を展望する。

2017:1./ 355p
978-4-532-35719-1
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/02/10



ブロックチェーンの未来～金融・産業・社会はどう変わるのか～

翁 百合、柳川 範之、岩下 直行 著

日本経済新聞出版社

経済社会に破壊的なインパクトをもたらす技術、ブロックチェーンは何をどう変えるのか? 金融、経済学など各分野の専門家・実務担当者、官庁の担当者が、ブロックチェーンの可能性をわかりやすく、包括的に解説する。

2017:9./ 281p
978-4-532-35736-8
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/02/10



いちばんやさしいブロックチェーンの教本～人気講師が教えるビットコインを支える仕組み～

杉井 靖典 著

インプレス

フィンテックやブロックチェーンのさまざまな活用事例をわかりやすく紹介。ビットコインなど仮想通貨、スマートコントラクトで契約を執行する仕組みやビジネスチャンスがわかる。PDF 版電子書籍のダウンロードサービス付き。

2017:9./ 222p
978-4-295-00144-7
本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2018/02/10



正規の世界・非正規の世界～現代日本労働経済学の基本問題～

神林 龍 著

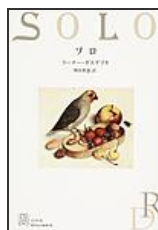
慶應義塾大学出版会

現代の労働市場で最も顕著な問題を「正規の世界と非正規の世界の不釣り合いな関係」と捉え、多彩なアプローチ・分析手法を用いて概観。現在から未来へとつながるわが国の働き方のトレンドを展望する。

2017:11./ 10p,444p
978-4-7664-2482-9
本体 ¥4,800+税



日本経済新聞 2018/02/10



ソロ(エクス・リブリス)

ラーナー・ダスグプタ 著

白水社

20 世紀ブルガリアを生き抜いた 100 歳の盲目の老人ウルリッヒ。音楽と化学に魅せられ、人生を翻弄された名もない男が紡ぎ上げた、めくるめく夢と幻の物語。気鋭のインド系英国人作家による傑作長篇。

日本経済新聞 2018/02/10

2018:1./ 443p

978-4-560-09054-1

本体 ¥3,700+税



明智小五郎回顧談

平山 雄一 著

ホーム社

ベールに包まれた父親の正体、一高・東大時代の交遊録、探偵になった経緯、戦時中の大陸での諜報活動、怪人二十面相との驚くべき関係…。乱歩研究の第一人者が、名探偵・明智小五郎の知られざる生涯を小説仕立てで描く。

日本経済新聞 2018/02/10

2017:12./ 342p

978-4-8342-5316-0

本体 ¥2,200+税



北朝鮮核の資金源～「国連捜査」秘録～

古川 勝久 著

新潮社

厳しい国際包囲網の中、なぜ北朝鮮は核兵器や米国にまで届くミサイルを開発できるのか。犯罪ネットワークを駆使して戦闘機やミサイルすら密輸する非合法ビジネス、組織の中核で暗躍する日本人の存在を明らかにする。

日本経済新聞 2018/02/10

2017:12./ 463p

978-4-10-351411-4

本体 ¥1,700+税



吉原の江戸川柳は面白い(平凡社新書 864)

小栗 清吾 著

平凡社

“もてたい”男たちを、遣り手が手ぐすね引いて待ち、?八百を並べながら、遊女たちがその気にさせる。男と女の人情喜劇を見事に詠み込んだ、吉原遊郭にかかわる江戸川柳を紹介する。

日本経済新聞 2018/02/10

2018:1./ 254p

978-4-582-85864-8

本体 ¥840+税



西郷隆盛はなぜ犬を連れているのか～西郷どん愛犬史～

仁科 邦男 著

草思社

日本史上最大の愛犬家、西郷隆盛。幕末京都では芸者には目もくれず、犬と鰻飯。維新後は政局から離れ、犬を引き連れて狩り、温泉ざんまい。そして、西南戦争には犬連れ出陣…。謎多き男の胸の内を、犬関連史料から探る。

日本経済新聞 2018/02/10

2017:12./ 287p

978-4-7942-2312-8

本体 ¥1,500+税



大西巨人と六十五年

大西 美智子 著

光文社

日本文学の金字塔「神聖喜劇」を著し、93 歳まで原稿に向かった大西巨人。その妻が共に歩んだ歳月と、たったひとりで看取った最後の 2 週間を、赤裸々に綴る。

日本経済新聞 2018/02/10

2017:12./ 271p

978-4-334-91196-6

本体 ¥2,800+税





棋士とAI～アルファ碁から始まった未来～(岩波新書 新赤版 1701)

王 銘【エン】 著

岩波書店

世界のトップ棋士たちを圧倒したアルファ碁は、人間の未来に多くの可能性を示すとともに、多くの未確定性と課題を残し、そして多くの問いも投げかけた。囲碁ソフト制作にも関わる人気棋士が、肌身で感じたその実像を綴る。

2018:1./ 7p,211p

978-4-00-431701-2

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2018/02/10



ギャグ・マンガのヒミツなのだ!(河出文庫 あ 29-1)

赤塚 不二夫 著

河出書房新社

日本マンガ史に輝く名作を生み出したギャグ・マンガの王様が、自身の笑いへの挑戦を語り尽くす。名キャラクターたちの誕生秘話、ナンセンスな言葉遊びの源泉、過激な社会風刺など、赤塚ギャグの真髓がわかるエッセイ集。

2018:1./ 233p

978-4-309-41588-8

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2018/02/10



大量生産品のデザイン論～経済と文化を分けない思考～(PHP 新書 1126)

佐藤 卓 著

PHP研究所

いかにしてデザインを学び、「デザインとは付加価値を与えるものではない」というデザイン論にどのように辿りついたのか。佐藤卓が、自身が携わった仕事を振り返りながら、商品の魅力を引き出す思考とプロセスを明らかにする。

2018:1./ 245p

978-4-569-83739-0

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/02/10



UPSTARTS～Uber と Airbnb はケタ違いの成功をこう手に入れた～

ブラッド・ストーン、井口 耕二 著

日経BP社

民泊紹介サイトのエアビーアンドビーと、配車サービスを展開するウーバー。2 社合わせた会社評価額は 10 兆円超! シリコンバレー発、たった 8 年でケタ違いの成功をつかんだ彼らの闘争と熱狂の全軌跡を追う。

2018:1./ 494p 図版 16p

978-4-8222-5559-6

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/02/10



オヒョイ～父、藤村俊二～

藤村 亜実 著

勉誠出版

親父の仕事が上向きになるちょうど良いタイミングでぼくは生まれた。幸せな家族 4 人の暮らし。だが、親父は家を出て行った。父への葛藤を乗り越えた著者が綴る、皆の知っているオヒョイさんと、皆の知らないオヒョイさん。

2018:1./ 252p

978-4-585-27045-4

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2018/02/10



2030 年未来への選択(日経プレミアシリーズ 364)

西川 潤 著

日本経済新聞出版社

未来は、私たちがどのように関わり、何をどう選択するかによって決まる。人口、エネルギー、成長率などの公的予測をもとに、世界ガバナンスのシナリオからポストグローバル化のゆくえまで、2030 年の世界像を深掘りする。

2018:1./ 276p

978-4-532-26364-5

本体 ¥870+税



日本経済新聞 2018/02/10



ブロックチェーン技術の未解決問題

松尾 真一郎、楠 正憲、崎村 夏彦、佐古 和恵、佐藤 雅史、林 達也、古川 諒、宮澤 慎一 著

日経BP社

暗号とその応用技術の設計・運用に関わってきた研究者らが、ブロックチェーンの基本的な知識と応用例を解説。ブロックチェーンの現状に対して問題提起し、課題解決の方向性を説明する。『ITpro』連載を基に書籍化。

日本経済新聞 2018/02/10

2018:1./ 214p

978-4-8222-5842-9

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 8 2 2 5 8 4 2 9 *



フィギュアほど泣けるスポーツはない!～オリンピックをきっかけに僕が皆さんに伝えたいこと～

織田 信成 著

KADOKAWA

僕はフィギュアスケートが大嫌いだった。“氷上のお殿様”織田信成が、自身のスケート人生と、羽生結弦・浅田真央の魅力について語る。松岡修造との「熱血スケート対談!」も収録。

日本経済新聞 2018/02/10

2018:1./ 191p

978-4-04-895683-3

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 4 8 9 5 6 8 3 3 *



あら、もう 102 歳～俳人金原まさ子の、ふしぎでゆかいな生き方～(草思社文庫き 1-1)

金原 まさ子 著

草思社

四ツ谷で暮らした少女時代、銀座で過ごした青春時代、結婚・出産、夫の浮気、そして 49 歳で飛び込んだ俳句の世界。106 歳で逝った「俳句界の不良少女」による自伝的エッセイ。100?106 歳の句作を収載して文庫化。

日本経済新聞 2018/02/10

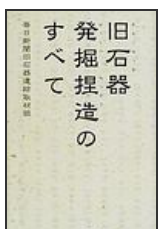
2018:2./ 237p

978-4-7942-2320-3

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 2 3 2 0 3 *



旧石器発掘捏造のすべて

毎日新聞旧石器遺跡取材班 著

毎日新聞出版

考古学会を大混乱させ、教科書を書き換えさせた発掘捏造の全容。当初の予想を超えて、広範囲かつ多数の遺跡で 20 年も行われてきた捏造の実態に迫り、大打撃を受けた日本の旧石器時代研究の現状と再生への道のりを探る。

日本経済新聞 2018/02/17

2002:9./ 206p

978-4-620-31584-3

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 6 2 0 3 1 5 8 4 3 *



発掘捏造(新潮文庫)

毎日新聞旧石器遺跡取材班 著

新潮社

日本経済新聞 2018/02/17

2003:5./ 306p

978-4-10-146823-5

本体 ¥476+税



* 9 7 8 4 1 0 1 4 6 8 2 3 5 *



天下を制す三好長慶 VS 織田信長～戦国阿波おもしろ百話～

出水 康生 著

教育出版センター

日本経済新聞 2018/02/17

2003:6./ 405p

978-4-905702-35-1

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 9 0 5 7 0 2 3 5 1 *



桶川ストーカー殺人事件～遺言～(新潮文庫)

清水 潔 著
新潮社
日本経済新聞 2018/02/17

2004:5./ 418p
978-4-10-149221-6
本体 ¥670+税



明日の記憶(光文社文庫)

荻原 浩 著
光文社
日本経済新聞 2018/02/17

2007:11./ 387p
978-4-334-74331-4
本体 ¥619+税



母が重くてたまらない～墓守娘の嘆き～

信田 さよ子 著
春秋社
親の期待に苦しみながら必死にいい娘を演じる女性達。それが「墓守娘」だ。進学、就職、結婚、介護…。どこまでもついてくる母から、どう逃げおおせるか。臨床心理士が悩める全ての女性に贈る、究極の「傾向と対策」。

2008:4./ 192p
978-4-393-36625-7
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/02/17



太王四神記<上>

安 乗道、館野 晰、蔡 星慧 著
晩声社
日本経済新聞 2018/02/17

2008:5./ 377p
978-4-89188-338-6
本体 ¥1,500+税



太王四神記<下>

安 乗道、館野 晰、蔡 星慧 著
晩声社
日本経済新聞 2018/02/17

2008:7./ 393p
978-4-89188-339-3
本体 ¥1,500+税



三国志～完訳～<8> 改版(岩波文庫)

羅 貫中、小川 環樹、金田 純一郎 著
岩波書店
日本経済新聞 2018/02/17

1988:7./ 351p
978-4-00-320128-2
本体 ¥760+税



二つの山河(文春文庫)

中村 彰彦 著
文芸春秋
日本経済新聞 2018/02/17

1997:9./ 238p
978-4-16-756703-3
本体 ¥550+税





「ウルトラ Q」の誕生

白石 雅彦 著

双葉社

1966 年 1 月 2 日、第 1 話「ゴメスを倒せ!」の放送から始まった「ウルトラ Q」は、テレビ史を変える画期的なシリーズだった。関係者の証言と資料を徹底検証し「特撮」に留まらぬ視点から、その全体像を描き出す。

日本経済新聞 2018/02/17

2016:1./ 295p

978-4-575-30988-1

本体 ¥1,700+税



人間の旬

大村 智 著

毎日新聞出版

たゆみなく歩いていけば、いくつになっても「旬の季節」がめぐってくる。日本を代表する化学者・大村智が、ノーベル賞授賞式の模様や受賞前後の話、家族、ふるさと、旅、次世代を担う若者への思いなどを綴る。

日本経済新聞 2018/02/17

2016:8./ 218p

978-4-620-32392-3

本体 ¥1,600+税



「ウルトラマン」の飛翔

白石 雅彦 著

双葉社

こうしてウルトラマンは飛び立った-。「ウルトラ Q」の誕生」の著者が、「ウルトラマン」誕生の軌跡を追うドキュメンタリー。証言と史料をつきあわせ、かつてなく丁寧に、限界まで歴史的事実迫る。

日本経済新聞 2018/02/17

2016:12./ 367p

978-4-575-31205-8

本体 ¥1,700+税



濱田マリの親子バトル!

濱田 マリ 著

河出書房新社

抱腹絶倒、ときどきホロリ。愛娘の幼稚園から大学入学まで、女優・濱田マリが、13年間の長きにわたり、2 か月にいっぺん書き紡いできた、定点観測子育てエッセイ。『intoxicate』連載を書籍化。

日本経済新聞 2018/02/17

2017:11./ 271p

978-4-309-02626-8

本体 ¥1,400+税



ジェイン・オースティンに学ぶゲーム理論～恋愛と結婚をめぐる戦略的思考～

マイケル・S-Y.チェ、川越 敏司 著

NTT出版

恋の駆け引きから、公民権運動の闘争技術、弱者の逆転サバイバル術まで、恋愛小説はゲーム理論の最良の教科書である-。イギリスを代表する作家ジェイン・オースティンの作品を主として取り上げ、ゲーム理論の極意を学ぶ。

日本経済新聞 2018/02/17

2017:12./ 425p,20p

978-4-7571-2332-8

本体 ¥4,600+税



避けられたかもしれない戦争～21 世紀の紛争と平和～

ジャン=マリー・ゲーノ、庭田 よう子 著

東洋経済新報社

大国のエゴ、奪われる命。どれだけ犠牲を払えば、人類は平和を手に入れられるのか-。元国連 PKO 責任者がみた、11 の紛争の舞台裏。21 世紀の平和維持活動の現実ときわめて困難な任務を如実に語る回顧録。

日本経済新聞 2018/02/17

2017:12./ 12p,617p,9p

978-4-492-44445-0

本体 ¥3,400+税





藤原氏～権力中枢の一族～(中公新書 2464)

倉本 一宏 著
中央公論新社

常に日本史の主役でありつづけた一族・藤原氏。古代国家の成立過程から院政期、そして中世に至る藤原氏千年の動きをたどり、いかにして権力を?み、後世まで伝えたのかを描く。

日本経済新聞 2018/02/17

2017:12./ 5p,297p
978-4-12-102464-0
本体 ¥900+税



21 世紀の長期停滞論～日本の「実感なき景気回復」を探る～(平凡社新書 863)

福田 慎一 著
平凡社

アベノミクス以降、株価は高騰を続け、労働市場では人手不足が起きているが、賃金は伸び悩み、将来に対する不安は増す一方である。なぜ、不安は解消されないのか。その原因を探る。

日本経済新聞 2018/02/17

2018:1./ 222p
978-4-582-85863-1
本体 ¥800+税



岩瀬忠震～五州何ぞ遠しと謂わん～(ミネルヴァ日本評伝選)

小野寺 龍太 著
ミネルヴァ書房

幕末の幕臣・外交官であった岩瀬忠震は、ハリスと談判して日米通商条約を作り上げ、井伊直弼の慎重論を押し切って独断調印した。「不平等条約」締結の真意とは何か。漢詩・和歌・絵画にも堪能だった開国の立役者の素顔に迫る。

日本経済新聞 2018/02/17

2018:1./ 15p,337p,6p
978-4-623-08259-9
本体 ¥4,000+税



中国 新たな経済大革命～「改革」の終わり、「成長」への転換～

肖 敏捷 著
日本経済新聞出版社

「14 億総中流」は実現できるのか? 歴史上例のない巨大な挑戦と試練が始まる。定評のあるエコノミストが、長期的な視点、歴史的な視点から、中国経済の可能性とリスクを冷静に解き明かす。

日本経済新聞 2018/02/17

2017:12./ 306p
978-4-532-35751-1
本体 ¥2,000+税



暴君誕生～私たちの民主主義が壊れるまでに起こったことのすべて～

マット・タイービ、神保 哲生 著
ダイヤモンド社

なぜ、絶望的なリーダーを選んでしまうのか。辛口コラムニスト&ベストセラー作家が、大嫌いな大統領候補の選挙活動にアメリカ全土について回って目撃した最悪の真実を綴る。トランプ登場前夜から壊滅的な最新事情まで収録。

日本経済新聞 2018/02/17

2017:12./ 6p,450p
978-4-478-10294-7
本体 ¥1,800+税



三国志名臣列伝<後漢篇>

宮城谷 昌光 著
文藝春秋

後漢末期の 184 年に王朝を襲い、三国時代の幕開けとなった「黄巾の乱」。皇帝の外戚の何進、劉備の師となる盧植、曹操に重用された荀彧ら 7 人の名将の命運を描く。『オール讀物』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/02/17

2018:2./ 365p
978-4-16-390796-3
本体 ¥1,700+税





夢を食いつづけた男〜おやじ徹誠一代記〜(ちくま文庫 う42-1)

植木 等 著

筑摩書房

義太夫語りを目指し、やがてキリスト教の洗礼を受け、後に浄土真宗の住職に。その間、労働運動や部落解放運動に身を投じ、治安維持法違反の嫌疑で繰り返し投獄され…。俳優・植木等が支離滅裂な父の人生を描いた名著、復活。

日本経済新聞 2018/02/17

2018:2./ 302p

978-4-480-43499-9

本体 ¥860+税



GHQと戦った女 沢田美喜(新潮文庫 あ-58-3)

青木 富貴子 著

新潮社

昭和23年、進駐軍兵士と日本人女性との混血孤児を救うため、GHQと対峙し、児童養護施設を創設した三菱財閥・岩崎家の令嬢、沢田美喜。たった一人で「戦争の後始末」に立ち向かった女性の愛と情熱の生涯に迫る。

日本経済新聞 2018/02/17

2018:2./ 335p

978-4-10-133753-1

本体 ¥550+税



海馬の尻尾

荻原 浩 著

光文社

人間、どこまで変われるのか。3年前に2度目の務めを終えた及川は、その酒乱を見るに見かねた若頭にアルコール依存症を治すよう命じられる。検査の結果、「良心がない」とまで言われた及川だが…。『小説宝石』連載を書籍化。

日本経済新聞 2018/02/17

2018:1./ 486p

978-4-334-91204-8

本体 ¥1,600+税



「ウルトラセブン」の帰還

白石 雅彦 著

双葉社

「ウルトラセブン」を子供達は大喝采で迎え、若きスタッフも自信満々。しかしひとりの人物が、作品の先行きに危惧を抱き…。豊富な一次資料を駆使し、同時代の視点で、制作過程を徹底検討する。

日本経済新聞 2018/02/17、朝日新聞 2018/02/25

2017:12./ 431p

978-4-575-31326-0

本体 ¥1,800+税



移民の政治経済学

ジョージ・ボージャス、岩本 正明 著

白水社

移民は商品ではない、生身の人間だ。労働市場に与えるインパクトから財政への影響まで、キューバ移民でハーバード教授が語った、移民をめぐる通説を根底から覆す記念碑的著作。

日本経済新聞 2018/02/17、読売新聞 2018/02/25

2017:12./ 227p, 12p

978-4-560-09591-1

本体 ¥2,200+税



世界を揺るがした10日間(光文社古典新訳文庫 KCシ1-1)

ジョン・リード 著

光文社

1917年11月。ロシア革命のさなか、若きジャーナリストのジョン・リードが、革命の指導者から兵士、農民、反対派までを取材。冬宮の占拠など、刻一刻と変動する革命の緊迫した現場を克明に描いたルポルタージュ。

日本経済新聞 2018/02/18

2017:11./ 748p

978-4-334-75365-8

本体 ¥1,540+税





ロリータ(新潮文庫)

ナボコフ 著

新潮社

日本経済新聞 2018/02/24

2006:11./ 623p

978-4-10-210502-3

本体 ¥890+税



* 9 7 8 4 1 0 2 1 0 5 0 2 3 *



経済古典は役に立つ(光文社新書)

竹中 平蔵 著

光文社

スミスやケインズなどの経済理論を取り上げ、現代の経済や政策のあり方に結びつけて「経済古典」を解説。経済の本質を見る目と、困難な問題を解決する基本力を高めることに焦点をあて、「経済古典」の今日的意義を考える。

2010:11./ 222p

978-4-334-03592-1

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 3 3 4 0 3 5 9 2 1 *

日本経済新聞 2018/02/24



指輪物語<1> 新版 旅の仲間 上(1)(評論社文庫)

J.R.R.トールキン 著

評論社

日本経済新聞 2018/02/24

1992:7./ 252p

978-4-566-02362-8

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 5 6 6 0 2 3 6 2 8 *



国富論(まんがで読破 MD097)

アダム・スミス、バラエティ・アートワークス 著

イースト・プレス

日本経済新聞 2018/02/24

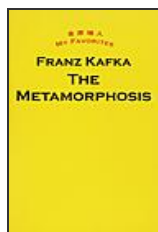
2011:11./ 190p

978-4-7816-0690-3

本体 ¥552+税



* 9 7 8 4 7 8 1 6 0 6 9 0 3 *



THE METAMORPHOSIS(金原瑞人 MY FAVORITES)

フランツ・カフカ、金原 瑞人 編

フランツ・カフカ 著

青灯社

日本経済新聞 2018/02/24

2012:7./ 169p

978-4-86228-059-6

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 8 6 2 2 8 0 5 9 6 *



子犬に脳を盗まれた!~不思議な共生関係の謎~

ジョン・フランクリン、桃井 緑美子 著

青土社

ひょんなことから犬を飼うことになった僕は、その共同生活のなかで謎にぶちあたった…。長年サイエンスライターとして活躍し、ピューリッツァー賞を2度受賞した著者が綴る、人間と犬をめぐる思索の日々。

2013:5./ 341p,7p

978-4-7917-6706-9

本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 6 7 0 6 9 *

日本経済新聞 2018/02/24



道徳感情論(NIKKEI BP CLASSICS)

アダム・スミス 著

日経BP社

アダム・スミス最初の著作である「道徳感情論」の新訳。「国富論」に先立って「経済学の父」が構想した「共感」原理に基づく道徳哲学の全貌。

2014:4./ 754p

978-4-8222-5000-3

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 8 2 2 5 0 0 0 3 *

日本経済新聞 2018/02/24



ヒトとイヌがネアンデルタール人を絶滅させた

パット・シップマン、河合 信和、柴田 譲治 著

原書房

ネアンデルタール人絶滅の決定的な要因はヒトがイヌ(オオカミ)を家畜としたこと——ネアンデルタール4万年前絶滅説ほか最新の知見をふまえ、「侵入生物」「動物の家畜化」という生態学的な視点から人類永遠の謎を解く！

日本経済新聞 2018/02/24

2015:11./ 289p

978-4-562-05259-2

本体 ¥2,400+税



プリズン・ブック・クラブ〜コリンズ・ベイ刑務所読書会の一年〜

アン・ウォームズリー 著

紀伊國屋書店出版部

カナダで雑誌記者をしている著者が刑務所の読書会に一年間、ボランティアとして参加した記録。みずからの経験を背負いつつ、さまざまな意見を率直にぶつけていく受刑者たちの、熱気あふれるやりとりを生き生きと描き出す。

日本経済新聞 2018/02/24

2016:8./ 445p

978-4-314-01142-6

本体 ¥1,900+税



飛ぶ教室(ポプラ世界名作童話 20)

E.ケストナー、最上 一平、矢島 眞澄 著

ポプラ社

もうすぐクリスマスを迎えるドイツの寄宿学校。それぞれの悩みや悲しみを抱え、暮らしている少年たちの正義と友情を描く。世界中で愛され読みつがれてきた名作を、現代の児童文学作家が読みやすく再構成。

日本経済新聞 2018/02/24

2016:11./ 173p

978-4-591-15186-0

本体 ¥1,000+税



アダム・スミスの影

根井 雅弘 著

日本経済評論社

「経済学の父」アダム・スミスは、もともと誤解され利用されてきた経済学者でもある。「市場原理主義」ではないスミスの真の姿をとおして、現代経済学への含意を考える。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:9./ 9p,174p

978-4-8188-2473-7

本体 ¥2,600+税



「新しい働き方」の経済学〜アダム・スミス『国富論』を読み直す〜(いま読む!名著)

井上 義朗 著

現代書館

「国富論」を“21 世紀の貧困論”として読むことで見えてくる市場経済の理想と現実。その矛盾の中で、私たちは誰と何を争い競争しているのか。「新しい働き方」を実現させるための「新しい企業」の姿を考える。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:10./ 229p

978-4-7684-1011-0

本体 ¥2,200+税



動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか

フランス・ドゥ・ヴァール、松沢 哲郎、柴田 裕之 著

紀伊國屋書店出版部

自分の決断を悔やむラット、道具を作るカラス、人間の顔を見分けるタコ…。霊長類の社会的知能研究における第一人者が、驚くべき動物の認知の世界を、自身の手によるイラストとともに鮮やかに描き出す。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:8./ 412p

978-4-314-01149-5

本体 ¥2,200+税





人生 100 年時代の国家戦略～小泉小委員会の 500 日～

藤沢 烈 著

東洋経済新報社

「若者が老人を支える国」から「みんなで若者を支える国」へ。小泉進次郎がこども保険を提言した理由とは。日本の未来を問う必読書。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:12./ 317p,52p

978-4-492-21235-6

本体 ¥1,500+税



転換日本～地域創成の展望～

月尾 嘉男 著

東京大学出版会

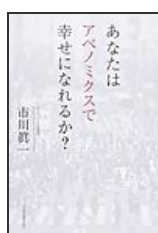
環境保護や地域計画に取り組んできた著者が、政府の規制に関係なく、政府の補助に依存せず、独自の発想で地域を元気にしてきた 16 の成功事例を紹介。地域から日本を変革する方策を提言する。『モルゲン』連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:12./ 9p,190p

978-4-13-053026-2

本体 ¥2,600+税



あなたはアベノミクスで幸せになれるか?

市川 眞一 著

日本経済新聞出版社

人口対策・雇用改革を避けるアベノミクスは究極の増税策-。悪性インフレ、金融資産の目減りなど、直面するリスクをわかりやすく解説し、日本経済の近未来を分析。蓋然性のあるシナリオを提示する。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:11./ 297p

978-4-532-35755-9

本体 ¥1,600+税



刑務所の読書クラブ～教授が囚人たちと 10 の古典文学を読んだら～

ミキータ・プロットマン、川添 節子 著

原書房

男性ばかりのジェサップ刑務所で、女性教授がはじめた読書クラブ。古典文学を読んだ囚人たちは、何を思うのか。やがて彼らは、思いがけない視点から物語の核心へと近づいていく。読書の常識を覆す驚嘆のノンフィクション。

日本経済新聞 2018/02/24

2017:12./ 299p

978-4-562-05465-7

本体 ¥2,000+税



米中海戦はもう始まっている～21 世紀の太平洋戦争～

マイケル・ファバイ、赤根 洋子 著

文藝春秋

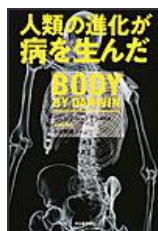
中国艦が米軍艦に異常接近、南シナ海の岩礁を次々と略奪する中国…。進出を続ける中国と、アジア太平洋地域でプレゼンスを維持するアメリカとの間で実際に起きた、2000 年代以降の非常に緊迫した海上事件を紹介する。

日本経済新聞 2018/02/24

2018:1./ 342p

978-4-16-390793-2

本体 ¥1,800+税



人類の進化が病を生んだ

ジェレミー・テイラー、小谷野 昭子 著

河出書房新社

なぜ病気はなくなるらないのか? アレルギー、不妊症、腰痛、癌、心臓病といった、いくつかの病気の本質に、人類の進化が関係していることを明らかにするとともに、新たな治療法が生まれつつあることなども紹介する。

日本経済新聞 2018/02/24

2018:1./ 340p

978-4-309-22727-6

本体 ¥2,200+税





ハリー・ニルソンの肖像

アリン・シププトン、奥田 祐士 著

国書刊行会

ビートルズとの神話的交遊、飲酒・薬物に溺れながらのレコード制作…。ハリー・ニルソンの波瀾万丈の人生を、関係者へのインタビューと本人が遺した自伝草稿ほか、膨大な資料と緻密な調査で辿る。

2017.12./ 427p,64p

978-4-336-06247-5

本体 ¥4,600+税



日本経済新聞 2018/02/24



「最前線の映画」を読む(インターナショナル新書 021)

町山 智浩 著

集英社インターナショナル

アメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国の「最前線の映画」を評論家が鋭く解剖。なにげないシーンやしぐさに秘められた監督の意図、ちょっとした台詞の中に隠された過去の名作・傑作の引用などを読み解く。

2018.2./ 205p

978-4-7976-8021-8

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/02/24



中世の喫茶文化～儀礼の茶から「茶の湯」へ～(歴史文化ライブラリー 461)

橋本 素子 著

吉川弘文館

平安・鎌倉期に渡来した茶が、寺院や武家から一般に広がる過程を、生産・流通・消費を軸に茶屋の役割などの面から解明。茶の歴史から日本文化を見直す。著者が行なった「お茶の歴史講座」の内容をもとに書籍化。

2018.2./ 7p,207p

978-4-642-05861-2

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/02/24



評伝ゲルハルト・リヒター

ディートマー・エルガー、清水 穰 著

美術出版社

揺るぎない、絵画への信頼。その本質を見つめる画家の眼差し。絵画はどこまでいくのか？ 現代美術の巨匠ゲルハルト・リヒター公認の伝記。原本を著者自身が短縮し、さらに 2017 年までの事項を追加したもの。

2018.1./ 379p,32p 図

版 17 枚

978-4-568-20272-4

本体 ¥4,600+税



日本経済新聞 2018/02/24



志らくの言いたい放題(PHP 文庫 た 110-1)

立川 志らく 著

PHP研究所

寄席で修業できなからうが、昔の落語ファンから罵声を浴びようが、談志の価値観や生き方を信じて精進を重ねてきたアウトロー集団・立川流。「我こそが談志イズムの継承者」と自負する著者が、落語立川流とはなんぞやを語る。

2018.1./ 284p

978-4-569-76801-4

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2018/02/24



経済学は役に立ちますか？

竹中 平蔵、大竹 文雄 著

東京書籍

いま日本と世界で何が起きているのか。日本はなぜデフレから抜け出せないのか。経済学を学ぶと世の中が面白く見える！ 経済学の理論、政策の現場から、働き方改革の行方、移民問題まで、ふたりの経済学者が語り合う。

2018.1./ 247p

978-4-487-80851-9

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/02/24



社会をつくる「物語」の力～学者と作家の創造的対話～(光文社新書 933)

木村 草太、新城 カズマ 著

光文社

現代世界で起こるあらゆる事象は「フィクション」が先取りしてきた。憲法学者と SF 作家が、「1984」「指輪物語」「飛ぶ教室」などの名作を参照しながら政治、経済、科学を縦横に巡り、来るべき社会を構想する。

2018:2./ 374p

978-4-334-04339-1

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/02/24



スーパーインテリジェンス～超絶 AI と人類の命運～

ニック・ボストロム 著

日本経済新聞出版社

人間と同等以上の知能を持つ AI が出現したら、いったい何が起こるのか。オックスフォード大学の俊英が、超絶知能誕生のプロセスをはじめ、人類にとっての最大の問題となる「AI のコントロール問題」について、緻密に論じる。

2017:11./ 717p

978-4-532-35707-8

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/02/24、朝日新聞 2018/02/25



戦前日本のポピュリズム～日米戦争への道～(中公新書 2471)

筒井 清忠 著

中央公論新社

日比谷焼き打ち事件に淵源を持ち、選挙による政権の成立と普通平等選挙制実現により本格化し、最後は日米戦争に行き着いた近代日本のポピュリズム。なぜ政党政治の崩壊と戦争という破滅に至ったか、現代への教訓を歴史に学ぶ。

2018:1./ 3p,300p

978-4-12-102471-8

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/02/24、東京・中日新聞 2018/02/25、読売新聞 2018/02/25



刑事の怒り

薬丸 岳 著

講談社

年金不正受給、性犯罪、外国人労働、介護。現代の闇に根差す凄惨な事件。非力な人々を餌食にする犯人を前に、夏目刑事のまなざしが怒りに燃える。日本推理作家協会賞受賞作など全 4 編を収録。「刑事・夏目シリーズ」第 4 弾。

2018:1./ 280p

978-4-06-220794-2

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/02/03



クリムゾンの疾走(徳間文庫 ひ 24-5)

樋口 明雄 著

徳間書店

シェパードばかりを狙った飼い犬の連続誘拐殺害事件が都内で発生。上京中だった山梨県警南アルプス署・神崎静奈の愛犬バロンまでもが連れ去られてしまう。静奈は相棒を取り戻そうとするが、事件の裏には驚愕の真実が...

2018:1./ 427p

978-4-19-894302-8

本体 ¥700+税



毎日新聞 2018/02/03



心変わり(岩波文庫)

ミシェル・ビュトール 著

岩波書店

毎日新聞 2018/02/04

2005:11./ 482p

978-4-00-375061-2

本体 ¥1,000+税





100 万回生きたねこ(佐野洋子の絵本)

佐野洋子 著

講談社

100 万回生まれかわっては、飼い主のもとで死んでゆく猫。飼い主たちは猫の死をひどく悲しんだが、猫自身は死ぬのなんか平気だった。ある時、猫は誰の猫でもない野良猫となり、一匹の白猫に恋をする...

1977:10./ 31p

978-4-06-127274-3

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/02/04



おなかのかわ(こどものとも)

瀬田 貞二、村山 知義 著

福音館書店

互いの家に、ごちそうに呼び合うことにしたねことおうむ。でも、けちんぼのねこは、ほんの少ししか食事を出しません。おうむはたっぷりごちそうを出したものの、ねこは全部たいらげた上に、まだ足りないと言い...

2009:2./ 28p

978-4-8340-0517-2

本体 ¥900+税



毎日新聞 2018/02/04



その男ゾルバ 第4版(東欧の文学)

ニコス・カザンザキス 著

恒文社

毎日新聞 2018/02/04

1996:11./ 387p

978-4-7704-0210-3

本体 ¥2,233+税



石ころ博士入門(全農教観察と発見シリーズ)

高橋 直樹、大木 淳一 著

全国農村教育協会

石ころは、壮大な地球のドラマを語る。ルーペを携えて石ころをめぐる冒険の旅に出かけよう! 身近にある石を扱い、石の種類やでき方、生い立ちなどを石の外見や中身の写真とともにわかりやすく解説する。

2015:4./ 173p

978-4-88137-181-7

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/02/04



宮沢賢治童話全集<7> オツベルと象

宮沢 賢治、堀尾 青史 編

宮沢 賢治 著

岩崎書店

オツベルと象/ねこの事務所/台川/檜ノ木大学士の野宿/十力の金剛石 を収録。

2016:9./ 167p

978-4-265-01937-3

本体 ¥1,980+税



毎日新聞 2018/02/04



三つの石で地球がわかる~岩石がひもとくこの星のなりたち~(ブルーバックス B-2015)

藤岡 換太郎 著

講談社

太陽系で最も多くケイ素が集まったため、ほかの惑星にはない多彩な岩石が生み出された地球は、「石の惑星」でもある。初心者が覚えるべき石を 3 つ選び、それらを主役に、石と地球の進化を語る。

2017:5./ 222p

978-4-06-502015-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2018/02/04



めざめる

阿部 海太 著

あかね書房

夢を見ているのは誰?星はいつからまたたいている?宇宙は誰がつくった...?「意識のめざめ」をテーマに、この世界とは何なのかという、永遠の謎を問いかける絵本。

毎日新聞 2018/02/04

2017:9./ 32p

978-4-251-09902-0

本体 ¥1,500+税



これから始める!シェアード・ディシジョンメイキング〜新しい医療のコミュニケーション〜

中山 健夫 編

日本医事新報社

臨床的な意志決定、そして患者と医療者の合意形成の手法として近年注目されているシェアード・ディシジョンメイキング(SDM)をわかりやすく解説しております。

毎日新聞 2018/02/04

2017:9./ 165p

978-4-7849-4639-6

本体 ¥3,300+税



大統領府から読むフランス 300年史〜エリゼ宮の権力亡者たち〜(祥伝社黄金文庫 G や 18-1)

山口 昌子 著

祥伝社

王政から流血革命を経て共和制、帝政、王政復古、ナチス・ドイツの占領を経て現在の第5共和制と体制が変わった約300年のエリゼ宮の歴史と代々の住人の逸話を紐解く書。フランスの権力の抛り所を探り、日本との相違を示す。

毎日新聞 2018/02/04

2017:10./ 318p

978-4-396-31721-8

本体 ¥670+税



365日のほん

辻山 良雄 著

河出書房新社

考える本、子どものための本、文学・随筆、旅する本...。東京・荻窪の本屋「Title」の店主が、昔から名作として読まれてきた本から最近出版されたばかりのものとで、「存在感がある本」365冊を選んで紹介する。

毎日新聞 2018/02/04

2017:11./ 392p

978-4-309-02634-3

本体 ¥1,400+税



わたしの名前は「本」

ジョン・アガード、ニール・パッカー、金原 瑞人 著

フィルムアート社

伝えること、読むこと、書くこと、広めること、残すこと。「本」が教えてくれる、「本」の物語。文字の発明から電子書籍まで、気の遠くなりそうな本の歴史を、イラストと様々な本からの引用を交えてコンパクトにまとめる。

毎日新聞 2018/02/04

2017:11./ 143p

978-4-8459-1624-5

本体 ¥1,600+税



ゲノムが語る人類全史

アダム・ラザフォード、垂水 雄二 著

文藝春秋

骨を残さず絶滅した第四の人類がいた! 化石人類に含まれる微量のDNAを抽出して解読する技術の発展がもたらした知見をもとに、人類進化の実像を明快かつ平易に語る。考古学ではわからなかった「世界史」の最先端。

毎日新聞 2018/02/04

2017:12./ 446p

978-4-16-390774-1

本体 ¥2,250+税





キリストは再び十字架にかけられる

ニコス・カザンザキス、藤下 幸子、田島 容子 著

教文館

難民たちが流れ込んだ小さな村。以来、難民たちと村人たちの間に軋轢が生じ...。20 世紀初頭のオスマン帝国治下のギリシア人村で、復活大祭から降誕祭までに起こる一連の事件を描く。現代ギリシア文学の代表的小説。

2017:10./ 769p

978-4-7642-9974-0

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2018/02/04



寄付白書<2017>

日本ファンドレイジング協会 編

日本ファンドレイジング協会

日本の寄付市場の全体像を明らかにする年次レポート。2016 年の日本の寄付の動向を明らかにし、「なぜ、人は寄付をするのか」を行動経済学などの研究成果に基づき検証。さらに日米英韓の比較から各国の最新情報も示す。

2017:11./ 158p

978-4-907431-11-2

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/02/04



生きつづける言葉～情と知で動かす～

平尾 誠二、岡村 啓嗣 著

PHP研究所

「理不尽に勝つ」「求心力」「勝者のシステム」など既刊 6 冊から平尾誠二が残した言葉を抜き出し、彼を 35 年間撮影し続けた岡村啓嗣の写真を添えた箴言集。生前親交のあった岡田武史、羽生善治、山中伸弥らによる解説も収録。

2017:12./ 239p

978-4-569-83616-4

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/02/04



内側から見る創価学会と公明党(ディスカヴァー携書 188)

浅山 太一 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

政権を支える公明党=創価学会。この宗教組織は、なぜかくも熱心に政治に取り組むのか。その「信仰の論理」を、社会学の新鋭にして創価学会員の著者が、綿密な資料分析をもとに解き明かす。

2017:12./ 275p

978-4-7993-2201-7

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/02/04



老前破産～年金支給 70 歳時代のお金サバイバル～(朝日新書 652)

荻原 博子 著

朝日新聞出版

残業カットに増税、ローン、子どもの将来-。「65 歳まで働けば大丈夫」「家売れば老人ホームに入れる」など、従来の「常識」が通用しなくなった今、「新・老前資産計画」を家計のスペシャリストが指南する。

2018:1./ 211p

978-4-02-273753-3

本体 ¥760+税



毎日新聞 2018/02/04



百年泥

石井 遊佳 著

新潮社

チェンナイ生活三か月半にして、百年に一度の洪水に遭遇した私。綴られなかった手紙、眺められなかった風景、話されなかったことば...。洪水の泥から百年の記憶が蘇る。魔術的でリアルな新文学。『新潮』掲載を単行本化。

2018:1./ 125p

978-4-10-351531-9

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/02/04、朝日新聞 2018/02/11、読売新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/24



逝きし世の面影(平凡社ライブラリー)

渡辺 京二 著

平凡社

昭和を問うなら開国を問え。そのためには開国以前の文明を問え……。幕末から明治に日本を訪れた、異邦人による訪日記を読破。日本近代が失ったものの意味を根本から問い直した超大作。

2005:9./ 604p

978-4-582-76552-6

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/02/04、毎日新聞 2018/02/25



ライ麦畑でつかまえて(白水 U ブックス)

J.D.サリンジャー 著

白水社

毎日新聞 2018/02/11

1984:5./ 332p

978-4-560-07051-2

本体 ¥880+税



むらぎも(講談社文芸文庫)

中野 重治 著

講談社

毎日新聞 2018/02/11

1989:5./ 446p

978-4-06-196045-9

本体 ¥1,500+税



チャップリン<下>

デーヴィッド・ロビンソン 著

文藝春秋

毎日新聞 2018/02/11

1993:4./ 486p

978-4-16-347440-3

本体 ¥2,913+税



チャップリン<上>

デーヴィッド・ロビンソン 著

文藝春秋

毎日新聞 2018/02/11

1993:4./ 463p

978-4-16-347430-4

本体 ¥2,913+税



赤頭巾ちゃん気をつけて(新潮文庫 し-73-1)

庄司 薫 著

新潮社

学生運動の煽りで入試が中止という災難に見舞われた高校 3 年の薫。愛犬が死に、幼馴染の由美と絶交し、踏んだり蹴つたりの 1 日がスタートするが…。青年の目で現代日本に通底する価値観の揺らぎを直視した 60 年代の青春小説。

2012:3./ 198p

978-4-10-138531-0

本体 ¥460+税



毎日新聞 2018/02/11



ブラウン神父の童心 新版(創元推理文庫 M チ 3-1)

G.K.チェスタトン 著

東京創元社

奇想天外なトリック、痛烈な諷刺とユーモアで、ミステリ史上に燦然と輝く短編集がリニューアル。ブラウン神父初登場の「青い十字架」、大胆なトリックの「見えない男」、有名な警句で知られる「折れた剣」など全 12 編を収録。

2017:1./ 381p

978-4-488-11013-0

本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/02/11



小説ライムライト～チャップリンの映画世界～

チャールズ・チャップリン、デイヴィッド・ロビンソン、大野 裕之、上岡 伸雄、南條 竹則 著

集英社

没後 40 年、映像の天才は作家としてもすごかった!喜劇王が書いた唯一の小説=映画『ライムライト』の原作。映画とひと味違うチャップリンの詩的言語を紹介、映像化を追うノンフィクションと写真資料も充実。

2017:1./ 429p

978-4-08-771035-9

本体 ¥3,500+税



* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 0 3 5 9 *

毎日新聞 2018/02/11



チャップリン自伝～若き日々～(新潮文庫 チ-2-1)

チャップリン 著

新潮社

ロンドンの薄汚れた劇場から栄光のハリウッドへ。度重なる苦難に襲われながら、少年はいかにして大スターまでの階段を登りつめていったか?「喜劇王」の前半生を自らふりかえって描く。

2017:4./ 413p

978-4-10-218503-2

本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 2 1 8 5 0 3 2 *

毎日新聞 2018/02/11



ハケンアニメ!(マガジンハウス文庫 つ 2-1)

辻村 深月 著

マガジンハウス

伝説の天才アニメ監督が 9 年ぶりに挑む「運命戦線リデルライト」。同じクールには期待の新人監督と人気プロデューサーが組むアニメもオンエアされ…。文庫版特別篇も収録。アニメ監督・新房昭之との対談付き。

2017:9./ 622p

978-4-8387-7100-4

本体 ¥880+税



* 9 7 8 4 8 3 8 7 7 1 0 0 4 *

毎日新聞 2018/02/11



ソング・オブ・サマー～真実のディーリアス～

エリック・フェンビー、小町 碧、向井 大策 著

アルテスパブリッシング

青年音楽家フェンビーは、不治の病に苦しむ大作曲家ディーリアスを助け、その最晩年の傑作群をともに紡ぎ出した。自然に抱かれたフランスの小村での奇跡的なコラボレーションを、みずみずしい感性で綴った珠玉の回想録。

2017:11./ 321p,11p

978-4-86559-171-2

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 8 6 5 5 9 1 7 1 2 *

毎日新聞 2018/02/11



記憶の海辺～一つの同時代史～

池内 紀 著

青土社

人生の軌跡をたどり、何を実証しようとしたのか。念願としたのは私的な記録を通じた時代とのかかわりだった…。10 歳のときの朝鮮戦争から、カフカ訳を終えた 60 歳までをたどる、自伝的回想録。『ユリイカ』掲載を書籍化。

2017:12./ 355p

978-4-7917-7023-6

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 7 0 2 3 6 *

毎日新聞 2018/02/11



1918 年最強ドイツ軍はなぜ敗れたのか～ドイツ・システムの強さと脆さ～(文春新書 1149)

飯倉 章 著

文藝春秋

1918 年の春季大攻勢で連合軍に大勝したドイツ軍が、わずか半年後、降伏せざるをえなくなったのはなぜか。容赦なく勝つことはできても、上手に負けることができない、ドイツというシステムを徹底検証する。

2017.12./ 287p
978-4-16-661149-2
本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 1 6 6 6 1 1 4 9 2 *

毎日新聞 2018/02/11



ブツァーティ短篇集<I> 魔法にかかった男

ディーノ・ブツァーティ、長野 徹 著

東宣出版

誰にも顧みられることのない孤独な人生を送った男が亡くなった。そのとき、町は突如として夢幻的な祝祭の場に変貌し、彼は一転して世界の主役になる…。『勝利』をはじめ、バラエティに富んだ 20 篇を収録。

2017.12./ 267p
978-4-88588-094-0
本体 ¥2,200+税



* 9 7 8 4 8 8 5 8 8 0 9 4 0 *

毎日新聞 2018/02/11



ここは内臓である～スキゾフレニアを腑分けする～(講談社選書メチエ 667)

計見 一雄 著

講談社

スキゾフレニア(統合失調症)は伝統的に理性の病とされてきた。さらに魂の崩壊とも見られたこの病気の根底にあるものは何か。豊富な経験を持つ精神科医が、この病気の本態を見極め、ヒトの心的傾向を総覧する。

2018.1./ 248p
978-4-06-258669-6
本体 ¥1,650+税



* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 6 9 6 *

毎日新聞 2018/02/11



平野美宇と伊藤美誠がんばれ!ピンポンガールズ(世の中への扉)

城島 充 著

講談社

アジアチャンピオンの平野美宇、五輪メダリストの伊藤美誠。ふたりはどうして強くなったのか? どこまで強くなるのだろうか? いま、日本の卓球ブームを支える“ピンポンガールズ”の、ライバル&親友物語。

2018.1./ 188p
978-4-06-287031-3
本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 0 6 2 8 7 0 3 1 3 *

毎日新聞 2018/02/11



「明日の王」詩と評論

草森 紳一、嵩 文彦 著

未知谷

草森紳一は密かに高校以来の朋友・嵩文彦の詩を論じていた。嵩の詩画集「明日の王」や詩集「生きてゆくということのなつかしさ」等に収録の作品全 14 篇と草森の評、そして残された嵩の解説を収録する。

2018.2./ 209p
978-4-89642-542-0
本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 8 9 6 4 2 5 4 2 0 *

毎日新聞 2018/02/11



ぼくたちはこの国をこんなふうに愛することに決めた(集英社新書 0912)

高橋 源一郎 著

集英社

ハラさんが経営する小学校に通う「ぼく」たちは、知性と個性に彩られた大人たちに見守られながら自分たちの「くに」を創り始め…。竹島問題、憲法改正など現代日本のシビアな命題を、小説形式で描く。『すばる』連載を書籍化。

2017.12./ 290p
978-4-08-721012-5
本体 ¥860+税



* 9 7 8 4 0 8 7 2 1 0 1 2 5 *

毎日新聞 2018/02/11、朝日新聞 2018/02/18



告白～ある PKO 隊員の死・23 年目の真実～

旗手 啓介 著

講談社

日本が参加した PKO の地・カンボジアで、ひとりの隊員が亡くなった。だが、その死の真相は封印され、遺族にも知らされていなかった…。NHK スペシャル「ある文民警察官の死」をもとに書籍化。見返しに地図あり。

2018:1./ 381p

978-4-06-220519-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/02/11、朝日新聞 2018/02/18



母・娘・祖母が共存するために

信田 さよ子 著

朝日新聞出版

母が重たい娘たち、団塊女性の母であることの困難、存在感を増す祖母…。母娘問題の第一人者であるカウンセラーが、豊富な事例とともに、3 世代の共存の方向性を探る。『一冊の本』連載を加筆し書籍化。

2017:12./ 228p

978-4-02-251508-7

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/02/11、日本経済新聞 2018/02/17



パリ五段活用～時間の迷宮都市を歩く～(中公文庫)

鹿島 茂 著

中央公論新社

毎日新聞 2018/02/18

2003:4./ 265p

978-4-12-204192-9

本体 ¥762+税



ゾラ・セレクション<5> ボヌール・デ・ダム百貨店

ゾラ 著

藤原書店

毎日新聞 2018/02/18

2004:2./ 651p

978-4-89434-375-7

本体 ¥4,800+税



琥珀の眼の兎

エドモンド・ドゥ・ヴァール、佐々田 雅子 著

早川書房

19 世紀後半、日本から輸出された根付はパリで愛でられ、その後、ウィーンの大富豪の親類の手に。だがナチスの魔の手が一族と根付に忍びより…。美しい根付に魅了され、その壮大な旅路を追ったノンフィクション。

2011:11./ 382p

978-4-15-209252-6

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/02/18



式子内親王私抄～清冽・ほのかな美の世界～

沓掛 良彦 著

ミネルヴァ書房

新古今和歌集の代表的な女流歌人として知られ、多くの優れた歌を遺した式子内親王。清冽でほのかな美の世界を作り上げた式子に、女流歌人の研究で知られる著者が迫る。

2011:11./ 11p,259p,2p

978-4-623-06050-4

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2018/02/18



漁港の肉子ちゃん(幻冬舎文庫 に-13-2)

西 加奈子 著

幻冬舎

男にだまされた母・肉子ちゃんと一緒に流れ着いた北の町。太っていて不細工で、明るい肉子ちゃん。キクリんは、そんなお母さんが最近少し恥ずかしい…。港町に生きる肉子ちゃん母娘と人々の息づかいを生き活きと描く。

2014:4./ 341p

978-4-344-42184-4

本体 ¥600+税



毎日新聞 2018/02/18



オープン・シティ(CREST BOOKS)

テジュ・コール、小磯 洋光 著

新潮社

マンハッタンを日ごと彷徨する若き精神科医。時折よみがえる遠い国の記憶。数々の賞に輝いたナイジェリア系作家によるデビュー長篇。

2017:7./ 284p

978-4-10-590138-7

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/02/18



斎宮〜伊勢斎王たちの生きた古代史〜(中公新書 2452)

榎村 寛之 著

中央公論新社

天皇の代替わりごとに占いで選ばれ、伊勢神宮に仕える未婚の皇女、斎王の住まい「斎宮」。飛鳥時代から鎌倉時代まで 660 年にわたって続いた斎宮を、あらゆる角度から紹介し、その素顔に迫る。

2017:9./ 4p.294p

978-4-12-102452-7

本体 ¥920+税



毎日新聞 2018/02/18



はじめましての中国茶

池澤 春菜 著

本の雑誌社

中国茶を熱烈に愛する著者が案内する、気軽で楽しい、でも奥深い中国茶の世界。中国茶とは何かをはじめ、6 大茶類、茶器、手軽に中国茶を楽しむ作法とお茶菓子のレシピなどを紹介します。台湾紀行も掲載。

2017:10./ 159p

978-4-86011-405-3

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/02/18



対談〜戦後・文学・現在〜

加藤 典洋 著

而立書房

非凡な文芸評論家・加藤典洋の 1999 年以降、現在までの対談を精選。古市憲寿、高橋源一郎、養老孟司、吉本隆明ら、時代に流されない、忖度なき思想家、同時代人との「生きた思考」のやりとりを収録する。

2017:11./ 382p

978-4-88059-402-6

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/02/18



ギリシアの抒情詩人たち〜竖琴の音にあわせ〜

沓掛 良彦 著

京都大学学術出版会

竖琴の音にあわせて歌われたギリシア抒情詩。サッポールの詩がもつ音の調べ、アルカイオスの諷刺詩、ヘレニズム時代の作家らによる西洋版本歌取りの歌…。西洋世界に深い影響を及ぼしたギリシア抒情詩の全体像を描き出す。

2018:2./ 6p.545p

978-4-8140-0130-9

本体 ¥5,200+税



毎日新聞 2018/02/18



カセットテープコンプリートブック～あのころの『カセット』のすべてが分かる 1 冊～(NEKO MOOK 2646)

ネコ・パブリッシング

黎明期から全盛期まで、国産カセットテープの歴史と、TDK をはじめとする 3 つのブランドストーリーを収録。また、世界中を席巻したソニー・ウォークマンとそのライバルたちも紹介する。『ステレオ時代』掲載をもとに書籍化。

2017.12./ 194p
978-4-7770-2146-8

本体 ¥1,287+税



毎日新聞 2018/02/18



モノクロームの東京都電～銀座線が消えて半世紀～(イカロス MOOK)

諸河 久 著

イカロス出版

日本の繁華街を代表する街「銀座」には、かつて縦横に都電のルートが張り巡らされていた。1963?65 年の間に撮影された都電のモノクローム写真を多数収録。車両データファイル、車両配置表なども掲載。

2017.12./ 175p
978-4-8022-0440-8

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/02/18



日本フィギュアスケート金メダルへの挑戦

城田 憲子 著

新潮社

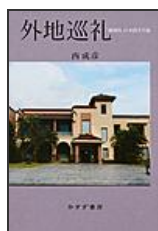
日本はいかにしてフィギュア大国になったのか。伊藤みどりを育て、荒川静香、羽生結弦をオリンピック金メダルに導いた元・日本スケート連盟強化部長が、進化と勝利の舞台裏を綴る。

2018.1./ 186p
978-4-10-351421-3

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/02/18



外地巡礼～「越境的」日本語文学論～

西 成彦 著

みすず書房

佐藤春夫からリービ英雄、温又柔へ。旧植民地・占領地のみならず北海道・沖縄から海外移住地まで、「日本語使用者が非日本語との不断の接触・隣接関係を生きるなかから成立した文学=外地の日本語文学」の問題を論じる。

2018.1./ 303p
978-4-622-08632-1

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/02/18



老後と介護を劇的に変える食事術～食べてしゃべって、肺炎、虚弱、認知症を防ぐ～

川口 美喜子 著

晶文社

ピンピンコロリかネンネンコロリか。その分岐点は「食べ方」！低栄養、フレイル、摂食嚥下障がいなど、老いの問題を遠ざける高齢者の食べ方を指南する。「食べる」と合わせて守りたい「しゃべる」生活についても言及。

2018.1./ 245p
978-4-7949-6985-9

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/02/18



モリー先生との火曜日

ミッチ・アルボム、別宮 貞徳 著

NHK出版

スポーツコラムニストの著者が再会した恩師・モリー先生は、難病 ALS で動けなくなった体で人と触れ合うことを楽しんでいた。死の床で、「人生の意味」についてをテーマに行われる授業に教科書はなく…。

2018.1./ 268p
978-4-14-081730-8

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/02/18



とり(ちいさな手のひら事典)

アンヌ・ジャンケリオヴィッチ、上田 恵介、ダコスタ吉村花子 著
グラフィック社

クジャクはどんな時に尾羽を開くの？ なぜフラミンゴは片足で立っているの？ アルザスのコウノトリは何のシンボル？ 貴重で珍しいクロモカードのレトロ可愛いイラストとともに、とりに関するさまざまな疑問に答える。

2018:2./ 175p
978-4-7661-3108-6
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/02/18



新・日本の階級社会(講談社現代新書 2461)

橋本 健二 著
講談社

豊かな人はより豊かに、貧しい人はより貧しく…。日本はすでに「階級社会」になっている！ SSM 調査(社会階層と社会移動全国調査)データと 2016 年首都圏調査データを中心に、現代日本の実情を明らかにする。

2018:1./ 305p
978-4-06-288461-7
本体 ¥900+税



毎日新聞 2018/02/18、朝日新聞 2018/02/25



いのちなりけり吉野晩?

前 登志夫 著
河出書房新社

吉野の樹下山人に徹し、「自然の中に再び人間を樹てる」ことを目指した著者が残した、豊穡なことば。晩年の静かな山住みの日々、生と死のコスモロジーを観想して綴った散文集。『朝日新聞』『短歌現代』連載等を書籍化。

2018:1./ 238p
978-4-309-02648-0
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/02/19



ひとをく嫌う(角川文庫)

中島 義道 著
角川書店

毎日新聞 2018/02/25

2003:8./ 238p
978-4-04-349602-0
本体 ¥480+税



平凡～他六篇～ 改版(岩波文庫)

二葉亭 四迷 著
岩波書店

毎日新聞 2018/02/25

1971:10./ 203p
978-4-00-310072-1
本体 ¥500+税



日本橋檜物町(平凡社ライブラリー)

小村 雪岱 著
平凡社

わが国装幀史上屈指の名作、鏡花「日本橋」を手がけた日本画家・雪岱。その仕事は挿絵・装幀は言うにおよばず、舞台美術の世界でも一家をなすほど。本職の画業に収まらない広がりや奥行きを持っていた雪岱の文集。

2006:9./ 292p 図版
16p
978-4-582-76589-2
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/02/25



黒船前夜～ロシア・アイヌ・日本の三国志～

渡辺 京二 著

洋泉社

ロシア人はどのようにして日本の北辺を騒がせるようになったのか。ロシア・アイヌ・日本の三者の関係をとおして、北方におけるセカンド・コンタクトの開始を世界史的視点で捉える。

2010:2./ 353p

978-4-86248-506-9

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 8 6 2 4 8 5 0 6 9 *

毎日新聞 2018/02/25



掌の小説 改版(新潮文庫)

川端 康成 著

新潮社

毎日新聞 2018/02/25

1989:1./ 559p

978-4-10-100105-0

本体 ¥890+税



* 9 7 8 4 1 0 1 0 0 1 0 5 0 *



硝子戸の中 改版(岩波文庫)

夏目 漱石 著

岩波書店

毎日新聞 2018/02/25

1990:4./ 138p

978-4-00-310112-4

本体 ¥400+税



* 9 7 8 4 0 0 3 1 0 1 1 2 4 *



大いなる日/司令の休暇(講談社文芸文庫)

阿部昭 著

講談社

毎日新聞 2018/02/25

1990:5./ 355p

978-4-06-196078-7

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 6 0 7 8 7 *



無縁の生活/人生の一日(講談社文芸文庫)

阿部昭 著

講談社

毎日新聞 2018/02/25

1992:5./ 354p

978-4-06-196174-6

本体 ¥980+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 6 1 7 4 6 *



阿部昭集<第14巻>

阿部昭 著

岩波書店

毎日新聞 2018/02/25

1992:10./ 496p

978-4-00-091654-7

本体 ¥4,660+税



* 9 7 8 4 0 0 0 9 1 6 5 4 7 *



千年/あの夏(講談社文芸文庫)

阿部昭 著

講談社

毎日新聞 2018/02/25

1993:5./ 329p

978-4-06-196223-1

本体 ¥980+税



* 9 7 8 4 0 6 1 9 6 2 2 3 1 *



銀河鉄道の父

門井 慶喜 著

講談社

岩手県をイーハトヴにし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。『小説現代』連載に、加筆、修正し単行本化。

2017:9./ 408p

978-4-06-220750-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/02/25



小水力発電が地域を救う～日本を明るくする広大なフロンティア～

中島 大 著

東洋経済新報社

小水力発電の可能性のある場所を開発すれば、山間地は電力の面で自立できる。山村を活性化し、人々を元気にする小水力発電について解説するとともに、その具体的なイメージや成功のコツがわかる様々な実例を紹介する。

2018:1./ 189p

978-4-492-76238-7

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/02/25



バテレンの世紀

渡辺 京二 著

新潮社

ペリー来航の 300 年前、日本人とヨーロッパ人の衝撃的な出遭い！ キリスト教伝来と布教、信長・秀吉・家康らの反応、禁教、弾圧、鎖国など、日欧の「ファースト・コンタクト」を鮮やかに描く。『選択』連載を単行本化。

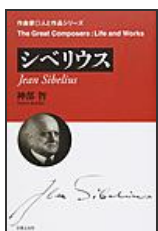
2017:11./ 478p

978-4-10-351321-6

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2018/02/25



シベリウス(作曲家・人と作品)

神部 智 著

音楽之友社

7 つの交響曲、ヴァイオリン協奏曲、<フィンランディア>など、数々の名作を生み出した巨匠ジャン・シベリウス。最新の研究成果を盛り込みながら、その全貌に迫る。

2017:12./ 253p,43p

978-4-276-22196-3

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2018/02/25



銀行不要時代～生き残りの条件～

吉澤 亮二 著

毎日新聞出版

7 割の地銀ではすでに本業が赤字化、5 年後にはほとんどの地銀が赤字経営に転落?! 人口減少、フィンテックで「いらなくなった銀行」はどこか? 格付けアナリストが大手行の国際比較も交えて徹底分析する。

2017:12./ 239p

978-4-620-32487-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/02/25



単純な生活(P+D BOOKS)

阿部 昭 著

小学館

煩雑な現実に振り回されながらも、“もっと単純に生きられたら”と心ひそかに願う中年の男。心臓を患った彼は、医者にもっと海でも眺めていると通告される。2 年半の日々を、静かに、淡々と綴った阿部昭の自伝的作品。

2018:1./ 424p

978-4-09-352327-1

本体 ¥650+税



毎日新聞 2018/02/25



平成デモクラシー史(ちくま新書 1299)

清水 真人 著

筑摩書房

権力を巡るゲームのルールはどう変わり、プレーヤーたちはどう行動してきたのか。どんな力学が働き、統治システムがどう変容してきたのか。30年の政治力学を構造的に読み解き、「平成デモクラシー」の航跡を描き出す。

2018:1./ 401p, 12p

978-4-480-07119-4

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2018/02/25



LOVE 台南〜台湾の京都で食べ遊び〜

佐々木 千絵 著

祥伝社

初めて台南に足を延ばしたとき、台北とはまるで違う“台湾”がそこにありました…。台南が好きなイラストレーター佐々木千絵の、食い意地と物欲のイラスト案内。距離感つかみやすいMAP付き。データ:2017年11月現在。

2017:12./ 241p

978-4-396-61620-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/02/25



小村雪岱随筆集

小村 雪岱、真田 幸治 編

小村 雪岱 著

幻戯書房

大正?昭和初期に活躍した装幀家・挿絵画家・舞台装置家の小村雪岱が、消えゆく江戸情緒の世界を書き留めた随筆を集成。没後、昭和18年(1943)に刊行された随筆集「日本橋檜物町」に、新たに発掘された44篇を加える。

2018:1./ 269p

978-4-86488-140-1

本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2018/02/25



ルポ川崎

磯部 涼 著

サイゾー

工業都市・川崎で中1殺害事件など凄惨な出来事が続いたのは、偶然ではない。地元ラッパーの証言をはじめ、ヤクザ、ドラッグ、売春、貧困、人種差別までドキュメントし、ニッポンの病巣をえぐる。『サイゾー』連載を書籍化。

2017:12./ 305p

978-4-86625-090-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/02/25



伴走者

浅生 鴨 著

講談社

「速いが勝てない」と言われ続けた淡島は伴走者として、勝利に食欲で傲慢な視覚障害者ランナーの内田と組むことになり…。自分ではなく他人のために勝利を目指す伴走者の戦いを描く。『群像』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2018:2./ 250p

978-4-06-220954-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/02/25



古事記と日本書紀〜二冊読んだらわかった日本のルーツ〜(エイムック 3957)

えい出版社

「古事記」「日本書紀」の重要な物語を33の話に分け、訳文と解説をマンガやイラストなどの図版とともに掲載。また、神さまや天皇家の系譜を系図で表し、それぞれのキャラクターを掘り下げる。

2018:2./ 176p

978-4-7779-4979-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/02/25